

千葉大学 医学部 医学教育研究室

千葉大学 医学部附属病院 総合医療教育研修センター

2025 年度

年次報告書

目次

1. 組織.....	4
千葉大学 医学部 医学教育研究室.....	4
千葉大学 大学院医学研究院 医学教育学.....	4
千葉大学 大学院医学研究院 千葉県寄附講座 地域医療教育学講座.....	5
千葉大学 医学部附属病院 総合医療教育研修センター.....	6
2. 学部・大学院教育.....	8
学部教育（医学部）.....	8
白衣式（第16回）（医学部）.....	9
学部教育（看護学部、他大学：附属病院看護部）.....	9
学部教育（普遍教育科目）.....	10
学部教育（サークル・部活動）.....	10
大学院教育（医学薬学府、看護学研究科）.....	10
学部・大学院教育（その他）.....	11
3. 卒後教育.....	12
新入職員研修.....	12
研修医個別面談.....	14
臨床研修報告会（第15回）.....	14
研修医定例ミーティング.....	14
アテンディングミーティング（FD）.....	14
看護職員院内研修.....	16
看護師特定行為研修.....	23
特定行為研修修了者フォローアップ研修.....	24
卒後教育（その他）.....	24
4. 試験業務.....	25
web-based test (wbt)（医学部）.....	25
共用試験（医学部）.....	25
研修医選抜試験（医学部附属病院）.....	25
基本的臨床能力評価試験（研修医）（医学部附属病院）.....	26
5. FD 実施.....	27
医学教育リトリート（医学部）.....	27
FD 一覧（医学部授業関連等）.....	31
FD 一覧（医学部地域医療教育FD）.....	36
FD 一覧（附属病院看護部）.....	42
臨床研修指導医講習会.....	42
地域のための指導医講習会 in 千葉（第4回）.....	42
千葉県臨床研修指導医養成講習会（第20回）.....	43
千葉大学卒後臨床研修指導医養成ワークショップ（第24回）.....	43
FD 実施（その他）.....	44

6.	教育管理.....	45
	委員会活動・兼務	45
	医学部／大学院医学研究院.....	45
	医学部附属病院	45
	千葉大学（医学部、医学部附属病院以外）	46
	千葉大学以外	46
	ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業	47
	質の高い臨床教育・研究の確保事業	47
	模擬患者養成・管理.....	48
	千葉大学いのはな SP 会（日本語模擬患者）	48
	英語模擬患者	48
7.	国際交流.....	49
	派遣実績（医学部）	49
	受入実績（医学部）	50
	受入実績（附属病院看護部）	50
	海外視察と留学協定締結交渉（医学部・看護学部・IPERC 等）	50
	千葉大学医学部国際プログラム留学生推移	52
8.	広報活動.....	53
	医学部／医学部附属病院（見学会）	53
	医学研究院／医学部／医学部附属病院（広報資料）	53
	Web ちば臨床研修病院ナビ	53
	千葉大学医学部附属病院看護部オープンホスピタル	53
	広報活動（その他）	53
9.	学会活動.....	54
10.	学術活動.....	56
	学会発表（特別講演・シンポジウム）	56
	学会発表（一般発表）	58
	原著	65
	書籍	72
	総説	72
	教材開発	73
	その他	73
	競争的資金	74
11.	IR データ	77
	卒前教育 IR データ	77
	卒後教育 IR データ	77
	その他	77
12.	資料（規程等）	78
	千葉大学医学部医学教育研究室規程.....	78
	千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター規程.....	79
	千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター教育研修管理チーム内規.....	80

1. 組織

千葉大学 医学部 医学教育研究室

千葉大学 大学院医学研究院 医学教育学

- 千葉大学大学院医学研究院医学教育学の教職員は医学教育研究室業務を兼務する。
- 千葉大学大学院医学研究院千葉県寄附講座地域医療教育学講座の教職員（地域アテンディングを除く）は医学教育研究室業務を兼務する。
- 総合医療教育研修センターの教職員のうち、医学部長の指示の下で医学教育研究室長あるいは総合医療教育研修センター長から指名された者は、医学教育研究室業務を兼務する。

構成員一覧（医学教育研究室）

	氏名	職位	所属（主となるもの）	備考
室長	伊藤 彰一	教授	医学教育学	
副室長 実施管理	笠井 大	講師	医学教育学	
医療安全	清水 郁夫	特任教授	医学教育学	
IR	田島 寛之	特任助教	医学教育学	
IR	小野寺 みさき	特任助教	医学教育学	～2026 年 3 月
IR	木村 康彦	特任助教	総合医療教育研修センター	
国際	塚本 知子	特任講師	総合医療教育研修センター	
国際	Nusrat Fatema	特任助教	総合医療教育研修センター	
事務	市山 実奈	事務補佐員	医学教育学	～2025 年 4 月 5 月～総合医療 教育研修センタ ー
事務	松浦 薫	事務補佐員	医学教育学	
事務	堂前 みさと	事務補佐員	医学教育学	2025 年 7 月～
事務	中澤 里那	事務補佐員	学務課	

※地域医療教育学講座は次表を参照。

千葉大学 大学院医学研究院 千葉県寄附講座 地域医療教育学講座

構成員一覧（地域医療教育学）

	氏名	職位	備考
地域医療教育学	伊藤 彰一	教授	
地域医療教育学	鋪野 紀好	特任教授	
地域医療教育学	荒木 信之	特任講師	
地域医療教育学	尾崎 尚人	特任助教	
地域医療教育学	高橋 在也	特任助教	～2025 年 4 月 2025 年 5 月～非常勤講師 2025 年 11 月～
地域アテンディング	勝山 陽太	特任助教	
地域アテンディング	青木 信也	特任助教	
地域アテンディング	曾我井 大地	特任助教	
地域アテンディング	村山 愛	特任助教	
地域アテンディング	森 徳郎	特任助教	
地域アテンディング	山田 悟史	特任助教	
地域アテンディング	長谷部 圭亮	非常勤講師	
地域アテンディング	杉田 昌昭	特任助教	
地域アテンディング	柳本 蔵人	特任助教	2025 年 4 月～
地域アテンディング	酒井 達也	特任助教	2025 年 4 月～
事務	松本 徹	事務補佐員	

千葉大学 医学部附属病院 総合医療教育研修センター

構成員および関係者一覧（初期臨床研修医、専攻医を除く）

氏名	職位	担当	兼任	備考
伊藤 彰一	教授	センター長	CCSC センター長	
酒井 郁子	教授	副センター長	看護学研究院教授	
笠井 大	講師	副センター長 実務者	医学教育学	
塚本 知子	特任講師	教育研修実践 国際		
Nusrat Fatema	特任助教	教育研修実践 国際		
木村 康彦	特任助教	IR		
桐山 加奈子	特任助教	教育研修実践		
吉田 幸恵	特任助教	教育研修管理		
臼井 いづみ	特任助教	CCSC	IPERC	
新井 加代子	看護師長	看護師教育	看護部	
広野 さわ	副看護師長		看護部	
渡邊 朋	副看護師長		看護部	
遠藤 展美	副看護師長		看護部	
山崎 友宏	副看護師長		看護部	
栗田 亜実	副看護師長		看護部	
根岸 智子	事務補佐員	事務		
矢本 菜穂子	事務補佐員	事務		
管藤 亜樹子	事務補佐員	事務		
植松 智子	事務補佐員	レジデントクラーク	病院総務課	
田尻 明美	事務補佐員	事務	病院総務課	
飯沼 加奈	事務補佐員	事務	病院総務課	
市山 実奈	事務補佐員	事務		2025 年 5 月～
金子 達哉	特任助教	アテンディング	消化器内科	
松井 慎一郎	特任助教	アテンディング	血液内科	
四宮 翼	特任助教	アテンディング	腎臓内科	
栗原 俊二郎	特任助教	アテンディング	アレルギー・膠原病 内科	
寺本 直弥	特任助教	アテンディング	糖尿病・代謝・内分 泌内科	
江口 紀子	特任助教	アテンディング	循環器内科	
藤本 一志	特任助教	アテンディング	呼吸器内科	
吉川 寛	特任助教	アテンディング	感染症内科	
山口有輝子	特任助教	アテンディング	食道・胃腸外科	

藤井 康矢	特任助教	アテンディング	肝胆膵外科	
松井 由紀子	特任助教	アテンディング	呼吸器外科	
裊 祥存	特任助教	アテンディング	泌尿器科	
栗田 健郎	特任助教	アテンディング	救急科・集中治療部	
菱谷 崇寿	特任助教	アテンディング	整形外科	
佐伯 優佳	特任助教	アテンディング	皮膚科	
中西 哲朗	特任助教	アテンディング	精神神経科	2025 年 6 月～
須藤 佑輔	特任助教	アテンディング	精神神経科	～2025 年 5 月
松田 達磨	特任助教	アテンディング	脳神経外科	
水地 智基	特任助教	アテンディング	脳神経内科	～2025 年 6 月
安田 真人	特任助教	アテンディング	脳神経内科	2025 年 7 月～
廣澤 聡子	特任助教	アテンディング	婦人科・産科	
篠原 佳子	特任助教	アテンディング	婦人科・産科	2025 年 10 月～
阿部 ちひろ	特任助教	アテンディング	小児科	
上原 絵里香	特任助教	アテンディング	小児科	2025 年 10 月～
西村 雄宏	特任助教	アテンディング	小児外科	～2025 年 9 月
工藤 渉	特任助教	アテンディング	小児外科	2025 年 10 月～
相原 啓紀	特任助教	アテンディング	病理診断科	
佐藤 瑠璃香	特任助教	アテンディング	総合診療科	

2. 学部・大学院教育／アウトリーチ

学部教育（医学部）

担当科目

科目名	履修年次	授業担当（○責任者）
導入 PBL テュートリアル	1 年次	○伊藤 彰一、笠井 大
ヒューマン・バイオロジー	1 年次	○伊藤 彰一
チーム医療Ⅰ（IPEⅠ）	1 年次	○笠井 大、田島寛之
医学英語Ⅰ	1 年次	○伊藤 彰一、塚本 知子、 Nusrat Fatema
地域医療学	1～6 年次	○伊藤 彰一、鋪野 紀好、 荒木 信之、尾崎 尚人
異文化コミュニケーション	1～6 年次	○伊藤 彰一
チーム医療Ⅱ（IPEⅡ）	2 年次	○笠井 大
生命倫理演習	2 年次	○笠井 大、吉田 幸恵
医学英語Ⅱ	2 年次	○伊藤 彰一、塚本 知子、 Nusrat Fatema
医師見習い体験学習	3 年次	○笠井 大
チーム医療Ⅲ（IPEⅢ）	3 年次	○笠井 大
臨床入門Ⅰプロフェッショナリズム	3 年次	○笠井 大
臨床入門Ⅰ診療録実習	3 年次	○田島寛之、笠井大
臨床入門ⅠコミュニケーションⅠ・Ⅱ	3 年次	○笠井 大
医学英語Ⅲ	3 年次	○伊藤 彰一、塚本 知子、 Nusrat Fatema
臨床入門ⅡコミュニケーションⅢ	4 年次	笠井 大、田島寛之
臨床入門Ⅱ診療録実習	4 年次	田島寛之、笠井大
チーム医療Ⅳ全人的評価（ICF）	4 年次	○笠井 大、尾崎 尚人
チーム医療Ⅳ（IPEⅣ）	4 年次	○笠井 大
CC ベーシック プロフェッショナリズム WS	4 年次	笠井 大
CC ベーシック 症例プレゼンテーション	4 年次	笠井 大
CC ベーシック 病棟でのマナーとルール	4 年次	総合医療教育研修センター 広野さ わ、田島 寛之
CC ベーシック 診療録実習	4 年次	田島 寛之、笠井 大
CC ベーシック 地域志向型 PBL	4 年次	○伊藤 彰一、鋪野 紀好、荒木 信 之、尾崎 尚人、清水 郁夫、塚本 知子、田島 寛之
CC ベーシック 末梢静脈確保	4 年次	鋪野 紀好、他（アテンディング）
医学英語アドバンスト（選択）	4・5 年次	○伊藤 彰一、Nusrat Fatema、 塚本 知子

海外クリニカルクラークシップ（選択）	5・6年次	○伊藤 彰一、塚本 知子
臨床実習Ⅰプロフェッショナルリズム WS1、キャリア講演会	5年次	○笠井 大、 ○伊藤 彰一
臨床実習Ⅰプロフェッショナルリズム WS2、臨床研修ガイダンス	5年次	○笠井 大、 ○伊藤 彰一
臨床実習Ⅰ 地域臨床実習	5年次	○伊藤 彰一、鋪野紀好、荒木 信 之、尾崎 尚人
臨床実習Ⅱ 医療プロフェッショナルリズム 演習	5年次	○桐山加奈子
臨床実習Ⅱプロフェッショナルリズム WS	6年次	○笠井 大 ○伊藤 彰一

アテンディング担当科目：

- 1年次：IPE Step1
- 2年次：IPE Step2
- 3年次：IPE Step3、医師見習い体験学習、イノベティブ先端治療学
- 4年次：IPE Step4、CC ベーシック（末梢静脈確保、手洗い実習、皮下注・筋注）
- 5年次：クリニカル IPE、電子カルテ操作説明、キャリアプラン講演会
- 4～6年次：クリニカルクラークシップ（CC）、アスパイアプロジェクト

上記のほか、所属診療科のユニット講義のマネジメント等を担当されている場合がある。

白衣式（第16回）（医学部）

日時：2025年11月28日（金）14:00～16:00

場所：医学部みのはな記念講堂

来賓：本橋新一郎（医学部長代理）、大鳥精司（附属病院長）、
伊藤彰一（学部学務委員長）、吉原俊雄（みのはな同窓会会長）、
中島新（医学部後援会副会長）、青柳信子（千葉白菊会会長）

学部教育（看護学部、他大学：附属病院看護部）

看護学実習等実施状況 6校 943名

学校名	実習科目数	学生数
千葉大学看護学部	13科目	593名
千葉県立保健医療大学	5科目	134名
淑徳大学	4科目	34名
東京情報大学	1科目	8名
千葉市青葉看護専門学校	6科目	63名
千葉県立幕張総合高等学校	1科目	40名
千葉大学教育学部 養護教諭養成課程		27名
淑徳大学総合福祉部 養護教諭養成課程		15名

学部教育（普遍教育科目）

担当科目

科目名	履修年次	授業担当（○責任者）
情報リテラシー（29）	1 年次	○田島 寛之
現代医学	1 年次	鋪野 紀好、荒木 信之

学部教育（国際教養学部科目）

科目名	履修年次	授業担当
高齢化と医療	3・4 年次	鋪野 紀好

学部教育（教育学部科目）

科目名	履修年次	授業担当
学校救急処置活動	3・4 年次	鋪野 紀好

学部教育（サークル・部活動）

- General Medicine Interest Group（顧問：伊藤彰一、副顧問：鋪野紀好）
- 亥鼻ジャズ研究会（顧問：伊藤彰一）
- 亥鼻卓球部（副顧問：酒井郁子）
- 亥鼻弓道部（顧問：笠井 大）

大学院教育（医学薬学府、看護学研究科）

担当科目（医学薬学府）

- 医学教育学特論
- 医学教育学演習
- 医学教育学実習
- 特別研究 他

担当科目（看護学研究科）

※ 大学院（看護学研究科）のシラバス参照。

担当科目（学外）

科目名	実施大学等	授業担当
医学コミュニケーション学（博士前期課程） ヘルスコミュニケーション 1 単位 1 コマ 専門職連携教育の実際と今後	京都大学 医学系研究科	酒井郁子
高度実践看護学コース 老年看護学Ⅳ老年看護システム論 2 単位 3 コマ 長期ケア施設でのケアシステムの構築とその実際	北里大学 看護学研究科	酒井郁子
高齢者在宅長期ケア看護学特論Ⅱ 2 コマ 長期ケアにおける Evidence Based Practice	東京大学 医学系研究科	酒井郁子
次世代育成看護学Ⅱ （ウィメンズヘルス・ケア）M 2 コマ	京都橘大学 看護学研究科	臼井いづみ

学部・大学院教育（その他）

該当なし

アウトリーチ活動（学術活動を除く）

- 吉川寛 一宮商業高等学校で性感染症に関する講義を実施。（2025 年 7 月 15 日）

3. 卒後教育

新入職員研修

実施日	内容	対象職種	担当
2025/4/1	医療人としての倫理	全職種	笠井 大
2025/4/2	CCSC の利用について	研修医（医科・歯科）	臼井いづみ
2025/4/2	研修における重要事項について	研修医（医科）	伊藤 彰一
	研修医室の利用方法（メールにて周知）	研修医（医科）	総合医療教育係
2025/4/4	動脈穿刺実習	研修医（医科）	田島寛之、他アテンディング
2025/4/1	接遇研修	全職種	田島寛之、広野さわ、栗田亜実
2025/4/1	専門職連携（IPW）	全職種	笠井 大、酒井 郁子、渡邊朋、臼井いづみ、井出 成美、孫佳茄、下井俊典他
2025/4/1	メンタルヘルス	全職種	大溪俊幸、瀬尾智美、野畑美保、新井大誠
2025/4/1	感染対策	全職種	猪狩英俊、谷口敏文、谷中麻里、他
2025/4/3	合同採血研修	研修医（医科・歯科）、看護師、臨床検査技師	笠井 大、荒木信之、寺本直弥、松井慎一郎、林あゆみ、立石和也、石川、酒井 郁子、清水 郁夫、臼井 いづみ、新井加代子、渡邊朋、広野さわ、山崎友宏
2025/4/9	静脈ライン確保	研修医（医科）	鋪野 紀好、他（アテンディング）
2025/4/4	輸液・シリンジポンプ・ベンチレータ等の取り扱い実習	研修医（医科）	
2025/4/5	経鼻胃管挿入実習	研修医（医科）	井上 将法、他（アテンディング）

2025/4/5	尿道カテーテル挿入 実習	研修医（医科）	佐藤美香、他（アテ ンディング）
2025/4/8	外傷初期対応（挫傷 洗浄、局所麻酔、皮膚 縫合等）	研修医（医科）	
2025/4/12.15.22	ICLS	研修医（医科）	富田啓介

研修医個別面談

2025 年 4 月，8 月に、千葉大学医学部附属病院で研修中の全研修医に対して個別面談を実施した。また、適宜、総合医療教育研修センター長等による個別面談を実施した。

臨床研修報告会（第 15 回）

開催日：2026 年 3 月 2 日(月)

開催場所：千葉大学医学部附属病院ガーネット・ホール、セミナー室 3（2 会場）

対象：千葉大学医学部附属病院の卒後臨床研修プログラム及び協力病院における

基幹型プログラムを修了予定の 2 年目研修医

（千葉大プログラム修了予定者は全員、協力病院プログラム修了予定者は任意）

研修医定例ミーティング

アテンディングミーティング（FD）

開催日	アテンディング FD	
	担当	内容
2025/4/10	荒木 信之 井上 将法 田島 寛之 清水 郁夫	大学病院と地域病院のアテンディングがワールドカフェ形式で意見交換を行い、教育に関するニーズや課題を共有した。交流が深まるとともに、今後の FD 活動の方向性に資する示唆が得られた。
2025/5/8	荒木 信之 井上 将法 田島 寛之 清水 郁夫	短時間でも効果的な学修機会を提供する方法について事例共有を行い、ミニレクチャーや声かけの意義を確認した。限られた時間での教育の工夫について理解が深まった。
2025/6/12	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	学生の問題行動と隠れたカリキュラムをテーマに KJ 法で意見を整理した。行動の背景には教育環境も関与することが示され、構造的な視点の重要性が認識された。
2025/7/10	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	臨床現場でのフィードバックをテーマにロールプレイなどを通して効果的な伝え方を学んだ。伝え方やタイミングの工夫が教育効果に大きく影響することが共有された。
2025/9/11	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	教育活動におけるリソース活用をテーマに、各施設の工夫を共有した。教育体制の持続可能性を意識し、リソースの可視化と優先順位付けの必要性が確認された。
2025/10/9	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	モチベーション向上をテーマに、学修者の意欲を引き出す関わり方や指導医のやりがいについて意見交換を行った。支援環境の整備の重要性が再認識された。
2025/11/13	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	問題行動への建設的なフィードバック方法を検討し、具体性や共感が重要であることが共有された。対応方針の統一や連携の必要性も明らかになった。

2025/12/11	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	ドレスコードの意義について議論し、服装指導は専門職意識の涵養につながる教育的側面を持つことが確認された。施設間の共通理解の必要性も共有された。
2026/1/8	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	大学病院と地域病院の実習の連続性について大学病院アテンディングと地域病院アテンディングが議論し、教育目標の明確化と施設間の役割分担が学修の一貫性に重要であるとの認識が得られた。
2026/2/12	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	学修を促進する評価のあり方について意見交換し、評価が学修支援の手段であることを再確認した。形成的評価の活用など、実践への意欲が高まった。
2026/3/12	田島 寛之 清水 郁夫 井上 将法	1年間のFD活動を振り返り、教育実践への変化や学びを共有した。施設間の連携が教育の質向上に寄与することが再確認され、次年度への意欲が高まった。

・2025 年度 定例ミーティング：ミニレクチャー担当者一覧

開催日	診療科	氏名	所属	タイトル
2025/4/11	腫瘍内科	大野 泉	＊腫瘍内科	「がん診療の基本」 ●化学療法はレベル 0 が重要です！
2025/5/9	呼吸器外科	松井 由紀子	アテンディング	●呼吸器外科での診療：胸腔ドレナージについて
2025/6/13	救急科・集中治療部	栗田 健郎	アテンディング	●心停止の認知とチームでの蘇生
2025/7/11	脳神経内科	水地 智基	アテンディング	●一過性意識障害：てんかん と失神の鑑別
2025/9/12	医療安全（CV）	清水 郁夫	総合医療教育研修センター	●中心静脈カテーテル留置・ 管理のピットフォール
2025/11/14	病理診断科	相原 啓紀	アテンディング	●病理組織検体の取り扱いについて
2025/12/12	総合診療科	角勇 貴大 (監修 佐藤)	アテンディング 監修	●医療面接総論
2026/1/9	感染症内科	吉川 寛	アテンディング	●カンジダ菌血症
2026/2/13	消化器内科	興柊(こおろき) 慧輔	＊消化器内科	●いま知っておきたい肝炎ウイルス検査実施時の対応
2026/3/13	形成外科	安藤 暢浩	アテンディング	●軟膏・創傷被覆材の選択と使用方法について

・看護職員院内研修

番号	研修名	目的	内容	開催日	人数
【専門的・倫理的・法的実践能力】					
1	看護と倫理	看護と倫理について考える	外部講師による講義	2/27	39
2	こんな時どうする？倫理的ジレンマをじっくり検討してみよう	日常の看護実践における倫理的課題への対応のプロセスと事例検討を通して体験し、看護師の役割を学ぶ	・「看護倫理」レクチャー ・事例検討 ・りんりんカフェ	全7回 6/19, 7/17, 8/2 19/18, 10/16, 1 1/20, 12/18	10
【臨床実践能力】					
3	事例に学ぶビギナー	対象の置かれた現状を理解し必要な看護を考える	・事例レポート作成 ・部署での事例検討	9月～3月	108
4	事例に学ぶStep1	自身の持てる力を発揮して対象者のニーズを捉える	・事例レポート作成 ・部署での事例検討	9月～3月	95
5	事例に学ぶStep2	対象者の全体像を総合的にとらえることができる	・事例レポート作成 ・部署での事例検討	9月～2月	81
6	エビデンスに基づいた看護改善のすすめ	エビデンスに基づいた看護改善の重要性を理解して看護の質の向上を図る	・講義オリエンテーション - 第2回 中間報告 - 第3回 最終報告	全5回 7/14, 28, 10/3 3/6, 12	7
7	看護記録研修－基礎編	患者のよりよい状態を目指し、患者の持てる力の発揮を支援する記録ができる	・看護記録記載基準、看護記録記載の申し合わせ・看護記録の記載方法	全1回 6/3, 10	124
8	重症度、医療・看護必要度 基礎編	重症度、医療・看護必要度を知り評価ができる	・重症度、医療・看護必要度とは・評価方法	全1回 5/30, 6/10, 16	125

9	看護技術トレーニング	部署で必要な基本的な看護技術を安全にシミュレーターで実施できる	・採血・導尿・膀胱留置カテーテル管理・経管栄養・吸引・抹消静脈留置針挿入	67回	357
10	実践に活かす酸素療法	酸素デバイスの特徴を知り、適切な酸素療法を実施できる知識を養う	講義：基礎知識演習：デバイス使用方法事後課題：実践への活用	全1回 10/29	26
11	人工呼吸器について学ぼう	人工呼吸器の仕組みや基本的操作を学ぶ	人工呼吸器の仕組みと基本的操作、人工呼吸器装着中の患者の看護のポイント	全1回 11/5. 10. 17	27
12	実践に活かす！気道管理～人工気道	人工気道挿入患者の気道管理に必要な知識を養う	シミュレーターによる口腔ケア・実践上の課題検討	全1回 12/10	17
13	やさしい心電図の読み方	心電図の基本的知識を学ぶ	心電図の基本	動画・手順	9/48
14	十二誘導心電図の読み方		十二誘導心電図の基本		26・139
18	褥瘡予防ポジショニングと基本のコツ	ポジショニング、良肢位を体験し、日々の看護ケア・褥瘡予防に活かす	・事前：褥瘡予防ケアの動画視聴 ポジショニング体験	全1回 9/3. 17	27
19	日々のケアに活かす褥瘡予防の基本	褥瘡リスク因子を理解し、正しく評価・アセスメントができる、褥瘡リスクアセスメントの結果から必要な予防ケアがわかる	・褥瘡発生の原因、機序・褥瘡リスクアセスメント日常生活自立度、OHスケールと予防ケア ・スキンケアの基本	全1回 7/30	24
20	この褥瘡どうケアする？褥瘡の	DESIGN-R2020を使用して褥瘡を正しく評価し、	症例検討：DESIGN-R2020で評価、局所ケアを選択	全1回 10/9	23

	評価と局所ケア	局所ケアを選択できる			
21	ストーリーケアの基本	ストーリーケアに必要なアクセサリ、装具について簡単な特徴を知る	講義&体験：装具やアクセサリの特徴の実際を理解する	全1回 10/23	28
22	患者中心のがん薬物療法看護基礎編	がん薬物療法看護の基本的知識を習得する	がん薬物療法、看護の基本曝露対策	動画	362
23	認知症看護	認知症看護についての基本を学ぶ	・アセスメントと援助方法、せん妄予防と対処法・倫理的問題と意思決定支援	動画	16
【リーダーシップとマネジメント能力】					
24	看護補助者との協働を推進するための研修：看護師	看護補助者と協働推進するために必要な知識や考え方を理解し役割分担や業務指示に活用する	看護補助者の業務と役割、協働推進のための考え方と役割分担 業務指示	動画	429
25	安全な医療の提供のために	看護業務を遂行する上での看護職の責任の基本的な考え方や行動を学ぶ	看護業務と責任 ヒヤリハット	全1回 7/24. 25. 30	125
26	業務プロセスに着目したインシデントの分析方法(POAM分析①)	業務プロセスで起こるインシデントの分析手法を学び、業務・仕組みの改善が必要性を理解する	プロセス型のインシデント事例の選択、ミスのあったプロセスの抽出方法と標準プロセスやルール	全1回 7/11	31
27	業務プロセスに着目したインシデントの分析手法(POAM分析②)	POAM分析について正しく理解し、部署で発生した事例を分析し、効果的な対策に結びつけることができる	事前課題：POAM①受講プロセス型インシデントの分析シートによる事例分析事後課題：POAM分析	全1回 9/13	17

28	メンバーシップⅠ	持てる力を発揮しチームの一員として行動できる	・場面の振り返りを通してチームメンバーの役割を考える	全1回 11/4. 12. 14	118
29	メンバーシップⅡ	看護実践に必要な関係者との情報交換等、主体的にメンバーシップを発揮できる	・場面の振り返りを通してチームメンバーの役割を考える	全2回 8/26. 28, 9/2 1/7. 9. 15	98
30	リーダーシップⅠ基本編	自己理解を促し、必要な知識や技量、態度を習得する	・リーダーシップとは・チームとリーダーの機能・実践振返	全3回 7/2, 10/27, 2/1 2. 17	35
31	リーダーシップⅡスキルアップ編	自己のリーダーシップの特徴を自覚してチームを目標に向けて導く	・リーダーシップとは、・リーダーシップに必要なスキル・実践の振り返り	全3回 7/9, 10/31, 2/3	15
32	課題解決型研修	副看護師長として部署の課題、看護管理における自己の課題に取り組む	自部署の課題や自身の課題への方略を改善しながら実施できる	全4回 7/25. 9/19. 11. 21. 1/30. 3/3	11
【専門性の開発能力】					
38	学習支援について学ぼう	プリセプター・シニアプリセプター準備	・生涯学習・新人教育の考え方・学習支援者のあるべき姿	全1回 12/25. 1/22, 2/25, 3/10, 13. 24	108
39	学び合う組織になるために	学び合う組織となるために部署の課題に取り組む	・リフレクション実施・学び合い促進の取り組み	全3回 9/19 11/21, 3/11	1
40	プリセプター研修	プリセプターに求められる能力を発揮して役割を担う	・振り返り（内省）の支援 ・教育する力の課題	全3回 6/2. 3, 6. 9/17. 24. 30, 1/28, 2/13. 19	66
41	シニアプリセプター研修	シニアプリセプターに求められる	・振り返り（内省）の支援 ・教育する力の課題	全3回 5/21 . 29. 10/6. 8, 1/30. 2/2	22

		る能力を発揮して役割を担う			
42	シニアナースエデューカー養成研修Ⅰ	副看護師長の“学習支援（教育）”に関する知識やスキルを	・成人学習、生涯学習・人材育成のキホン・ラダーと目標管理・面談の振返り・ファシリテーション	全4回 7/10, 9/5 12/4, 1/29	8
43	シニアナースエデューカー養成研修Ⅱ	ブラッシュアップし、経験を活かし根拠に基づいて現状に即した学習支援が展開できること目指す	・SNEの役割 ・部署の課題への取り組み ・SNEとしての課題への取り組み	全4回 7/17. 10/3. 1/2 2. 2/25	4
【採用時・復職時・既卒入職者・管理者・看護補助者・保育士】					
新採用者	新採用者研修	・社会人、本院の看護職員としての役割心構えを理解する ・医療人としての規範を身につける ・当院の管理体制を理解し他部門・多職種の活動を理解する	・医療人の倫理、心構え・医療安全管理・薬剤部業務と医療安全・医療機器の安全管理・放射線業務管理・情報モラル・リテラシー・不正経理の防止、保険診療・感染対策・接遇・IPW・メンタルヘルス・看護部組織	4日間 4/1, 2, 3, 4	130
	採血合同研修	安全にシミュレーターで静脈採血ができる	・採血手順の確認 シミュレーター採血	4/3	126
	採用者：輸液の基本的知識と手技体験	定められた手順に従って、安全かつ的確にシミュレーターを用いた輸液が実施できる	全3回 ・知識編 Part1、2 ・技術編 輸液ポンプ、自然滴下	①4/8, 9, 10, 12 ②4/16, 17, 23, 24, 26, 5/1③5/1, 30, 31	129 125 127
	働くことと学ぶことを考えよう	「自分で考えられる新人」に向かって一步を踏み出すことができる	・当院理念と目標管理・看護師の倫理 ・経験学習	全1回 4/11, 18, 25	126
	中途採用入職時研修	新採用者入職時研修に準ずる		18回開催	29

復職者	長期休業からの復帰時研修	当院では働くうえで必要な基本的な知識を得る	医療法に基づく事項 看護部組織に関する事項	32 回開催	41
既卒	既卒入職者フォローアップ	新たな職場に適応して働き続けることができる	・職場適応促進、自身の強みと職場での活用について	全 3 回 4/8. 11/11 3/17	4
管理者	新任副看護師長研修	副看護師長の職務遂行のための基盤づくり、職務を果たすための基礎力を養う	・副看護師長の役割と責務、目標管理、ラダーについて ・看護管理実践事例検討	全 8 回 5/29, 6/26, 7/24, 9/25, 10/30. 11/27 /, 12/25, . 2/26	5
	副看護師長フォローアップ	副看護師長としての能力を最大限に発揮し職務を果たすため、マネジメント能力の向上を図る	・部署目標達成のための看護管理の取り組み・副看護師長としての課題への取り組み	全 4 回 7/7. 10/6. 2/2. 2/26	7
	新任看護師長研修	新任看護師長が、看護管理に必要な基礎的な知識・技術を学び、看護師長の役割、責務を認識し、職務遂行のための基盤を作る。また、看護師長として、効果的な部署運営のために必要なマネジメント能力を養う	・病院、看護部組織と運営・人事・労務管理・人材育成・教育支援・看護の質評価と病院経営・リスクマネジメント・看護業務管理・広報・看護師確保対策・ビジョン、チームビルディング、人材育成	全 8 回 4/24. 5/14. 22. 6/4. 26. 7/9. 24 . 8/6.	5
	新任看護師長研修 応用編		・部署管理における困りごとの整理と分析について	全 2 回 12/22. 3/10	4
	看護師長研修	「2025 年度短期目標」の評価を通して、看護部全体の状況を捉え、自部署ならびに委員会活動の今後の取り組みに活かすことができる		全 3 回 12/11, 1/22, 2/5, 19	33
補助者 ・保	看護補助者技術研修	看護手順に沿って安全で安楽な援助方法を学ぶ	ベッド上でのおむつ交換と体位の調整	全 1 回×16 8 月～9 月	90
	看護補助者研修	チームの一員として看護補助者	看護補助者の役割、協働 感染管理：PPE 手指消毒	全 1 回×6 回 1・19, 2/5. 3/6	99

育 士		の持てる力を発 揮する			
	医 療 保 育 士 研修	チームの一員と して医療保育士 の持てる力を発 揮する	役割と業務 感染予防対策	全 1 回 3/25	2

看護師特定行為研修

期間	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 5 日	
受講者数	16 名	
	院内受講者 9 名 院外受講者 7 名 初回受講者 14 名 科目履修者 2 名	
共通科目受講者	14 名	
科目別受講者数	97 名（延べ人数）	
循環器関連		5
循環動態に係る薬剤投与関連		5
感染に係る薬剤投与関連		3
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連		10
血糖コントロールに係る薬剤投与関連		4
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連		0
皮膚損傷に係る薬剤投与関連		1
透析管理関連		0
術後疼痛管理関連		3
動脈血液ガス分析関連		8
呼吸器（気道確保に係るもの）関連		6
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連		7
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連		4
心嚢ドレーン管理関連		1
胸腔ドレーン管理関連		3
腹腔ドレーン管理関連		1
創部ドレーン管理関連		3
創傷管理関連		6
ろう孔管理関連		4
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連		10
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連		3

特定行為研修修了者フォローアップ研修

第8回 PICC セミナー：日本医学シミュレーション学会認定コース	
日 時	2026 年 2 月 8 日(日) 13:00～16:30
場 所	千葉大学医学部附属病院 CCSC
参加者	2022 年度～2024 年度の当研修機関の PICC 関連修了者 8 名
目 的	知識・技術の維持・向上、修了者の情報交換の機会とする
内容	講師・
ハンズオンセミナー	
エコー操作・エコー観察・穿刺	藏田能裕（食道・胃腸外科） 大網毅彦（救急科） 今枝太郎（救急科）
ガイドワイヤー取り扱い	
困難症例検討	
院内特定看護師フォローアップセミナー	
日 時	2025 年 10 月 17 日（金）17 時～17 時 30 分
場 所	CCSC レクチャー室 1
講 師	救急科 今枝太郎
参加者	院内特定看護師 11 名（25 名中） CV 抜去修了者 7 名（11 名中）
目 的	中心静脈カテーテル管理（抜去）を安全に実施（または介助）するための知識・技術を再確認する
内 容	日本医療安全調査機構の動画視聴 講師によるレクチャー 確認テスト まとめ

卒後教育（その他）

・患者支援部勉強会

日時：2025 年 8 月 18 日（月）16：30～17：10

カンファレンスとは何か

参加者：患者支援部 MSW および看護師 15 名

場所：患者支援部会議室

講師：臼井いづみ

内容：講義とグループワーク

4. 試験業務

web-based test (wbt) (医学部)

学部教育（医学部）において、臨床実習、演習系科目を除く 25 科目（臨床病態治療学Ⅰ・Ⅱや生化学などのユニット科目、臨床入門の一部である CC ベーシックなどを別に数える場合には 45 科目等）の学生評価において wbt システムを活用した定期試験を実施した。また、6 年次の総合統一試験（2025/11/10（月）～11（火）、2 日間・400 問）、一部の大学院医学薬学府設置科目も wbt システムを活用し、実施した。

wbt 実施数

		本試験数	追・再試験数
1 年	専門基礎科目	3	2
1 年	基礎医学系ユニット	5	4
2 年	基礎医学系ユニット	12	9
3 年	基礎医学系ユニット	4	4
	臨床医学系ユニット	10	8
4 年	臨床医学系ユニット・CC ベーシック	10	6
	社会医学系ユニット	3	1
修士	大学院医学薬学府設置科目	1	1
	合 計	48	35

※追試験・再試験を同時に実施する場合は 1 回と数える。ただし、複数科目の追試験・再試験を同時に実施する場合および追試験の再試験を実施した場合はそれぞれ別に数える。

共用試験（医学部）

実施日	内容	対象
2025/9/6（土）	臨床実習前 OSCE（本試験）	4 年次生
2025/10/3（金）	CBT（本試験）	4 年次生
2025/11/1（土）	臨床実習後 OSCE（本試験）	6 年次生
2025/11/14（金）	CBT（追再試験）	4 年次生
2025/12/5（金）	臨床実習後 OSCE（追再試験）	6 年次生

研修医選抜試験（医学部附属病院）

実施日	内容	受験者数
2025/8/10（日・祝）	選抜試験 1 期（面接試験）	91 名
2025/8/15（金）	選抜試験 2 期（面接試験）	96 名
2025/8/16（土）	選抜試験 3 期（面接試験）	92 名

※応募後の辞退者を含む

マッチング結果

プログラム名		定員	中間	マッチ者	2次採用	辞退者等	採用予定者
医科	大学病院スタート 自由設計	15	8	15(3)	—	1(0)	14 (3)
	協力病院スタート	30	7	30(10)	—	0(0)	30(10)
	産婦人科	2	1	1(0)	—	0(0)	1(0)
	小児科	2	1	1(0)	—	0(0)	1(0)
	合 計	50	17	46(13)	—	1(0)	46(13)

※ 2026 年度に卒後臨床研修を開始する研修医。() 内の数字は千葉大生の数。

基本的臨床能力評価試験（研修医）（医学部附属病院）

千葉大学医学部附属病院内で研修中の研修医のうち、希望者が、日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP）が実施する基本的臨床能力評価試験（GM-ITE）を受験した。

実施日	内容	対象
2026/1/28（水）	基本的臨床能力評価試験（GM-ITE）	研修医

5. FD 実施

医学教育リトリート（医学部）

日時：2025 年 8 月 18 日（月） 13:00～17:00

会場：医学系総合研究棟 第 2 講義室

目的：千葉大学の理念、千葉大学医学部のミッション、医学教育分野別評価基準に照らし合わせて千葉大学医学部の教育を検証し、改善に向けての方針を策定するとともに、そのために必要な能力を修得する。

時間		【内容】	【担当】
13:00	5 分	開会の辞	三木隆司
13:05	15 分	医学教育分野別評価（JACME）年次報告書説明	金田篤志
13:20	10 分	主旨説明、アイスブレーキング	伊藤彰一
13:30	150 分	ワークショップ「生成 AI ネイティブ時代の医学教育を考える ―学生と共に考える生成 AI との付き合い方―」 ・プレナリーレクチャー（40 分） ・ハンズオンセミナー（5 分 オリエンテーション，25 分 ハンズオン＋適宜休憩） ・ワークショップ（80 分） ☆生成 AI 時代の医学教育者の役割 ☆生成 AI の医学教育におけるガイドライン	西内啓 尾崎尚人 他 清水郁夫 他 笠井大、 他
16:00		休憩	
16:10		事業紹介 ①「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」 ②「質の高い臨床教育・研究の確保事業」	鋪野紀好 笠井大
16:20		科目照会（グッドプラクティス） ・科目「法医学」（15 分） ・科目「臨床実習（救急科・集中治療部）」（15 分） 質疑応答	猪口剛 今枝太郎
17:00		終了、ポストアンケート、解散	

参加者一覧

グループ	研究領域・診療科等	職名	参加者氏名
1	代謝生理学	教授	三木 隆司
	精神医学	准教授	新津 富央
	公衆衛生学	講師	山崎 慶子
	放射線科	助教	向井 宏樹
	学生	学生(5年)	海老原 颯人
	医学教育研究室	特任助教	田島 寛之◎
2	グループ2は13と統合		
3	認知行動生理学	教授	清水 栄司
	法医学	准教授	猪口 剛
	整形外科学	講師	中村 順一
	産科・婦人科	助教	齊藤 佳子
	医学教育研究室	特任講師	荒木 信之◎
4	腫瘍病理学	教授	池原 譲
	イノベーション再生医学	准教授	高山 直也
	内分泌代謝・血液・老年内科学	准教授	前澤 善朗
	呼吸器病態外科学	助教	田中 教久
	医学教育研究室	特任助教	田島 寛之◎
5	脳神経外科学	助教	須田 泉
	感染病態学	准教授	齋藤 謙悟
	小児病態学	講師	中野 泰至
	薬理学	助教	平山 友里
	医学教育研究室	特任助教	木村 康彦◎
6	皮膚科学	教授	猪爪 隆史
	病態病理学	准教授	岸本 充
	人工腎臓部(救急科・集中治療部)	講師	服部 憲幸
	腎臓内科学	助教	吉村 仁宏
	医学教育研究室	特任講師	荒木 信之◎
7	感染制御部	教授	猪狩 英俊
	形成外科学	准教授	窪田 吉孝
	耳鼻咽喉・頭頸部外科	講師	飯沼 智久
	免疫細胞医学	特任研究員	本吉 究
	医学教育研究室	特任助教	小野寺 みさき◎

8	薬理学	教授	安西 尚彦
	病原細菌制御学	准教授	清水 健
	循環器内科学	診療准教授	高岡 浩之
	皮膚科学	講師	外川 八英
	次世代災害治療学研究部門	特任助教	荻野 智大
	医学教育研究室	特任助教	小野寺 みさき◎
9	機能形態学	教授	山口 淳
	環境労働衛生学	教授	諏訪園 靖
	泌尿器科学	准教授	坂本 信一
	臓器制御外科学	講師	高野 重紹
	分子腫瘍学	助教	福世 真樹
	医学教育研究室	特任教授	鋪野 紀好◎
10	アレルギー・臨床免疫学	教授	中島 裕史
	内分泌代謝・血液・老年内科学	准教授	堺田 恵美子
	感染生体防御学	准教授	彦坂 健児
	先端データ医科学	講師	岩瀬 克郎
	疾患システム医学	講師	中西 未央
	医学教育研究室	特任教授	鋪野 紀好◎
11	実験免疫学	教授	木村 元子
	和漢診療学	准教授	平崎 能郎
	消化器内科学	特任助教	金子 達哉
	環境生命医学	助教	成田 都
	医学教育研究室	講師	笠井 大◎
12	免疫発生学	教授	平原 潔
	薬理学	准教授	橋本 弘史
	口腔科学	講師	中嶋 大
	小児外科学	講師	光永 哲也
	医学教育研究室	特任教授	清水 郁夫◎
13	環境生命医学	准教授	鈴木 崇根
	先端応用外科学	講師	栃木 透
	細胞分子医学	講師	大日向 康秀
	環境労働衛生学	准教授	能川 和浩
	分子病態解析学	助教	横山 真隆
	医学教育研究室	特任助教	尾崎 尚人◎

	人工知能(AI)医学	教授	川上 英良
総括	医学教育研究室	教授	伊藤 彰一

◎：タスクフォース

FD 一覧（医学部授業関連等）

テーマ	実施日時	実施場所	実施形態 (講演、研修、 ワークショップ等)	目的・目標・ 実施内容	講師	対象者	参加人数
導入 PBL テュートリアル説明会	6/13(金)14:15-15:45、 6/16(月)14:00-15:30、 6/17(火)13:00-14:30	医学系 総合研究棟 セミナー室 1、2	講演	テューターガイド、評価方法	伊藤	臨床テュートリアル テューター	12
医学教育リトリート	2025/8/18 (月)13:00-17:00	医学系 総合研究棟	講演、ワークショップ	医学教育分野別 評価、授業実践、地域臨床教育、学修者評価、教育改善	医学教育 研究室員	医学部教員、学部学務委員会 委員等	67
地域のための指導医 講習会 in 千葉	7/6(日)、 7/13(日)	医学系 総合研究棟	講演、ワークショップ	臨床研修全般 (目標、教育法・ 指導法、評価 法、ストレス対応 など)	伊藤、鋪 野、笠井、 荒木、清 水、田島、 尾崎、曾我 井、山田、 青木、村 山、杉田、 横尾	臨床研修 に関わる 指導医	30
千葉県臨床研修指導 医養成講習会	11/15(土)、 11/16(日)	病院教 育研修 棟・ CCSC	講演、ワークショップ	臨床研修全般 (目標、教育法・ 指導法、評価 法、ストレス対応 など)	伊藤、笠 井、他	臨床研修 に関わる 指導医	24
千葉大学卒後臨床研 修指導医養成ワーク ショップ	2/21(土)、 2/22(日)	病院教 育研修 棟・ CCSC	講演、ワークショップ	臨床研修全般 (目標、教育法・ 指導法、評価	伊藤、笠 井、他	千葉大学 医学部附 属病院卒 後臨床研	37

				法、ストレス対応など)		修プログラム指導医	
臨床テュートリアル説明会(精神神経ユニット、女性生殖/成長発達ユニット)	4/7(月), 5/20(火)	会議室 2・オンライン	講演	テューターガイド、評価方法、概念マップ	猪爪、近藤、笠井、伊藤	臨床テュートリアルテューター	32
臨床テュートリアル説明会(呼吸器/循環器ユニット、消化器ユニット、内分泌/血液/アレ膠ユニット)	9/16 (火),10/21 (火),11/18 (火)	オンライン	講演	テューターガイド、評価方法、概念マップ	猪爪、近藤、笠井、伊藤	臨床テュートリアルテューター	48
アテンディング FD	4月10日(木) 16:00-17:15	病院セミナー 室3	研修	アテンディング FD のオリエンテーション アテンディングに必要な資質、能力の紹介	アテンディング	アテンディング(教育専任教員)	20
アテンディング FD	5月8日(木) 16:00-17:15	病院教育研修棟・ CCSC	研修	アテンディングの日々の教育活動に関するミニレクチャー、グループディスカッション	アテンディング	アテンディング(教育専任教員)	15
アテンディング FD	6月12日(木) 16:00-17:15	病院セミナー 室2	研修	アテンディングの日々の教育活動に関するミニレクチャー、グループディスカッション、問題行動へのフィードバック	アテンディング	アテンディング(教育専任教員)	17
アテンディング FD	7月10日(木) 16:00-17:15	病院セミナー 室3	研修	教育研修管理チーム会議との合同開催で、「生成AIの院内業務への取り入れ方」をテーマに、院内	アテンディング	アテンディング(教育専任教員)	19

				の活用事例、当院の現行のルール共有を行った。生成 AI について理解が深まり活用推進に寄与した。			
アテンディング FD	9 月 11 日(木) 16:00-17:15	病院セミナー 室3	研修	大学・地域病院アテンディングの合同企画として、地域臨床実習前に大学病院における臨床実習と地域臨床実習の内容を共有し、双方の経験を活かした実習プログラムについて議論を行った。	アテンディング	アテンディング(教育専任教員)	15
アテンディング FD	10 月 9 日(木) 16:00-17:15	病院教育研修棟・CCSC	研修	リソースマネジメント	アテンディング	アテンディング(教育専任教員)	6
アテンディング FD	11 月 13 日 (木) 16:00-17:15	病院教育研修棟・CCSC	研修	学生の医行為指導を促進するために、4 種類の医行為について初心者が誤りやすい点を抽出し、その指導法について策定した。効果的・効率的な医行為指導を行えるようになった。	アテンディング	アテンディング(教育専任教員)	17

アテンディング FD	12 月 11 日 (木) 16:00-17:15	病院教 育研修 棟・ CCSC	研修	宮地純一郎先生 (名大)をお招き し、日々の臨床 経験から質的研 究を行い、論文 化するまでの過 程について講演 を聴講し、質疑 応答を行った。 質的研究の実施 過程について理 解が深まった。	アテンディ ング	アテンディ ング(教育 専任教員)	16
アテンディング FD	1 月 8 日(木) 16:00-17:15	病院教 育研修 棟・ CCSC	研修	大学・地域病院 アテンディングの 合同企画として、 地域臨床実習に て臨床実習Ⅰが 役立ったことの振 り返りと、地域臨 床実習の経験を 臨床実習Ⅱにど う活かすかのディ スカッションを行 った。	アテンディ ング	アテンディ ング(教育 専任教員)	20
アテンディング FD	2 月 12 日(木) 16:00-17:15	病院教 育研修 棟・ CCSC	研修	教育におけるグ ループワークの 有効性やその効 果促進のこつに ついて意見集約 し、情報提供を 行った。小集団 の学生を取扱い 教育的成果を上 げるための指導 医の役割につい て理解した。	アテンディ ング	アテンディ ング(教育 専任教員)	16

アテンディング FD	3 月 12 日(木) 16:00-17:15	病院教育研修棟・CCSC	研修	今年度の教育活動に関する総括, グループディスカッション 1 年間の FD 活動を振り返り、教育実践への変化や学びを共有した。施設間の連携が教育の質向上に寄与することが再確認され、次年度への意欲が高まった。	アテンディング	アテンディング(教育専任教員)	17
FD 臨床入門・コミュニケーションⅢ	5 月 13 日(火), 20 日(火), 27 日(火)の 13:00-13:30	第一講義室	研修	医療面接のフィードバック	笠井	臨床入門協力医師	24
FD 医師見習い体験学習指導医	11 月下旬～オンデマンド	Zoom, オンデマンド	研修	医師見習い体験学習の指導医の役割	笠井	大学病院医師、学外関連施設医師	75
臨床実習前 OSCE 評価者養成講習会(医療面接)	8 月 5 日	医学部講義室	研修	OSCE 医療面接評価方法	笠井	医療面接ステーション担当医師	5
FD メンター制度	①2025/10/21(火) 16:00-17:00 ②2025/10/30(木) 16:00-17:00 ③2025/10/31	①医学系総合研究棟グループ学習室 1(304) ②医学系総	研修	メンター制度について全般(目標・効果・方法等)	伊藤、小野寺、荒木、塚本、尾崎	メンター候補となる医学部・附属病院在籍の講師・准教授・教授	20

	(金) 16:30-17:30	合研究棟グループ学習室1 (304) ③医学系総合研究棟グループ学習室1 (304)					
総合統一試験 FD	2025 年 7 月 25 日 (金) ~ 8 月 15 日 (金) 期間内の任意 の日程	オンデマンド 配信	研修	総合統一試験の 問題作成	小野寺	総合統一 試験 業務 担当教員	38

FD 一覧（医学部地域医療教育 FD）

テーマ	実施日時	実施場所	実施形態 (講演、研修、 ワークショップ等)	目的・目標・ 実施内容	講師	対象者	参加人数
地域医療教育 FD	2025/4/10 15:00-17:00	医学系総合研究棟 セミナー室1	研修	地域病院アテン ディングの資質・ 能力 「地域医療の現 場から」企画会 議	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	18

地域医療教育 FD	2025/4/17 15:00-17:00	オンライン	研修	地域と国際	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	18
地域医療教育 FD	2025/4/24 15:00-17:00	オンライン	研修	研究倫理につい て 医学教育的研 究について	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	16
地域医療教育 FD	2025/5/1 15:00-17:00	オンライン	研修	地域病院アテン ディングの資質・ 能力 「地域医療の現 場から」企画会 議 地域臨床実習ほ か実践準備	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	16
地域医療教育 FD	2025/5/8 15:00-17:00	医学系 総合研 究棟 セミナー 室1	研修	バックワード・デ ザイン	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	32
地域医療教育 FD	2024/5/22 15:00-17:00	オンライン	研修	地域臨床実習ほ か実践準備	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	14
地域医療教育 FD	2025/6/5 15:00-17:00	オンライン	研修	学修方略・教育 技法	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	15
地域医療教育 FD	2025/6/12 15:00-17:00	医学系 総合研 究棟 セミナー 室1	研修	学修方略・教育 技法	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	16
地域医療教育 FD	2025/6/19 16:30-18:30	オンライン	研修	地域臨床実習ほ か実践準備	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	13

地域医療教育 FD	2025/7/10 15:00-17:00	医学系 総合研 究棟 セミナー 室1	研修	学修者評価	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	18
地域医療教育 FD	2025/7/17 16:30-18:30	オンライ ン	研修	メンタリングにつ いて	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	14
地域医療教育 FD	2025/7/31 15:00-17:00	オンライ ン	研修	臨床 IPE について	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	13
地域医療教育 FD	2025/8/21 15:00-17:00	オンライ ン	研修	医学教育学会 報告	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	13
地域医療教育 FD	2025/8/28 15:00-17:00	オンライ ン	研修	地域臨床実習ほ か実践準備	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	14
地域医療教育 FD	2025/9/4 15:00-17:00	オンライ ン	研修	地域臨床実習ほ か実践準備	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	14
地域医療教育 FD	2025/9/11 16:30-18:30	医学系 総合研 究棟 セミナー 室 1	研修	フィードバックの 実践	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	17
地域医療教育 FD	2025/9/18	オンライ ン	研修	地域臨床実習ほ か実践準備	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	14
地域医療教育 FD	2025/9/25 15:00-17:00	オンライ ン	研修	Difficult Learner の対応	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	16
地域医療教育 FD	2025/10/2 15:00-17:00	オンライ ン	研修	地域臨床実習ほ か実践準備	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	15

地域医療教育 FD	2025/10/9 15:00-17:00	医学系 総合研 究棟 セミナー室1	研修	地域臨床実習・ 中間振り返り アンプロフェッシ ョナル行動	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	18
地域医療教育 FD	2025/10/16 16:30-18:30	オンライ ン	研修	医学教育の潮流	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	14
地域医療教育 FD	2025/10/30 15:00-17:00	オンライ ン	研修	シミュレーション 教育	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	15
地域医療教育 FD	2025/11/6 15:00-17:00	オンライ ン	研修	シミュレーション 教育実践	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	15
地域医療教育 FD	2025/11/13 15:00-17:00	医学系 総合研 究棟 セミナー 室1	研修	IPE の理論と実 践(10月11月 で日程調整) 医療現場の D&I(IPE と調 整)	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	18
地域医療教育 FD	2025/11/20 16:30-18:30	オンライ ン	研修	IPE の理論と実 践(10月11月 で日程調整) 医療現場の D&I(IPE と調 整)	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	15
地域医療教育 FD	2025/11/27 15:00-17:00	オンライ ン	研修	シミュレーション 教育実践(学生 募集?調整)	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	11
地域医療教育 FD	2025/12/4 15:00-17:00	オンライ ン	研修	第58回日本医 学教育学会 演題発表への意 見交換	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	16
地域医療教育 FD	2025/12/11 15:00-17:00	医学系 総合研 究棟	研修	地域臨床実習 (5年次)の IR 結果報告	地域医療 教育学	地域病院 アテンディ ング	18

		セミナー 室1		ちば地域医療教育コンソーシアムの意見交換			
地域医療教育 FD	2025/12/18 16:30-18:30	オンライン	研修	第 58 回日本医学教育学会 演題発表への意見交換	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	13
地域医療教育 FD	2025/12/25 15:00-17:00	オンライン	研修	地域臨床実習 (臨床実習 I) 学生アンケート 結果共有	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	17
地域医療教育 FD	2026/1/8 15:00-17:00	医学系 総合研 究棟 セミナー 室1	研修	地域臨床実習 (臨床実習 I) 次年度に向けて の教育計画立案	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	18
地域医療教育 FD	2026/1/15 16:30-18:30	オンライン	研修	シミュレーション 学修	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	12
地域医療教育 FD	2026/1/22 15:00-17:00	オンライン	研修	地域志向型シミュレーション学 修	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	16
地域医療教育 FD	2026/1/29 15:00-17:00	オンライン	研修	オンデマンドコンテンツの公開 第 57 回日本医学教育学会 演題発表への意見交換	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	12
地域医療教育 FD	2026/2/5 15:00-17:00	オンライン	研修	地域診断に関する調査研究報告	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	12
地域医療教育 FD	2026/2/12 15:00-17:00	医学系 総合研 究棟 セミナー 室1	研修	地域医療教育学 FD の計画 グローバル地域 ケア GRIP+IPE	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	18

地域医療教育 FD	2026/2/19 16:30-18:30	オンライン	研修	第 57 回日本医学教育学会 演題発表への意見交換	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	12
地域医療教育 FD	2026/2/26 15:00-17:00	オンライン	研修	地域臨床実習に向けたグッドプラクティス集の作成	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	15
地域医療教育 FD	2026/3/5 15:00-17:00	オンライン	研修	次年度活動に向けての計画	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	12
地域医療教育 FD	2026/3/12 15:00-17:00	対面 (附属病院 3 階 セミナー室 1)	研修	年間活動振り返り 地域臨床実習に向けたグッドプラクティス集の作成	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	13
地域医療教育 FD	2026/3/19 16:30-18:30	オンライン	研修	年間活動振り返り	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	12
地域医療教育 FD	2026/3/26 15:00-17:00	オンライン	研修	年間活動振り返り	地域医療 教育学	地域病院 アテンディング	18

FD 一覧（附属病院看護部）

看護部学習支援委員会 看護師長 4 名、副看護師長 12 名

開催日	内容
20254/10 14:00～15:00	看護部ビジョン・看護部と委員会の所管事項確認
2025/5/7 14:00～15:00	活動計画立案
2025/6/4 14:00～15:00	看護補助者技術研修検討
2025/7/2 14:00～15:00	ラダーマニュアル改訂
ー2025/9/3 14:00～15:00	実習オリエンテーション、実習情報シート検討
202510/ 1 14:00～15:00	院内看護研究・活動報告会運営確認
2025/11/5 14:00～15:00	看護補助者能力指標検討 、
2025/12/3 14:00～15:00	看護補助者能力指標検討
20261/8 14:00～15:00	看護研究活動報告会振り返り
2026/2/5 14:00～15:00	活動評価
2026/2/26 14:00～15:00	活動評価 次年度課題確認

臨床研修指導医講習会

地域のための指導医講習会 in 千葉（第 4 回）

開催日及び開催地

開催日：2025 年 7 月 6 日（日）、2025 年 7 月 13 日（日）

開催地：千葉市中央区亥鼻 1-8-1 千葉大学医学部医学系総合研究棟

講習会実施担当者

(1) 主催責任者	千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 教授	伊藤 彰一
(2) 企画責任者	千葉大学大学地域医療教育学講座 特任教授	鋪野 紀好
(3) 世話人	千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 講師	笠井 大
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任教授	鋪野 紀好
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任講師	荒木 信之
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任助教	尾崎 尚人
	千葉大学大学院医学研究院医学教育学 特任教授	清水 郁夫
	千葉大学大学院医学研究院医学教育学 特任助教	田島 寛之
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任助教	村山 愛
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任助教	杉田 昌昭
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任助教	青木 信也
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任助教	曾我井 大地
	千葉大学大学院医学研究院地域医療教育学講座 特任助教	山田 悟史
	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医歯学教育開発センター センター長・教授	横尾 英孝

千葉県臨床研修指導医養成講習会（第 20 回）

開催日及び開催地

開催日：2025 年 11 月 15 日（土）、11 月 16 日（日）開催地：千葉市中央区亥鼻 1-8-1 クリニカルスキルズセンター スキルトレーニング室(千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター)

講習会実施担当者

(1) 主催責任者	千葉大医学部附属病院 総合医療教育研修センター教授 センター長 千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 教授	伊藤 彰一
(2) 企画責任者	千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 講師※	笠井 大
(3) 世話人	千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 特任教授※ 千葉大学医学部附属病院 循環器内科 特任助教※ 千葉大学大学院医学研究院 医学教育学 特任助教※ 千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任助教 千葉大学医学部附属病院 食道・胃腸外科 特任助教※ ☆ 2 日目 千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学 特任教授※ 千葉大学医学部附属病院 総合診療科 特任講師※ 東千葉メディカルセンター 消化器内科 副部長 千葉大学医学部附属病院 呼吸器外科 特任助教※ 千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科 特任助教 ※	清水 郁夫 江口 紀子 田島 寛之 尾崎 尚人 山口 有輝子 鋪野 紀好 塚本 知子 亀崎 秀宏 松井 由紀子 吉川 寛
(4) 講師	千葉県健康福祉部 医療整備課医師確保・地域医療推進室長	里見 季彦

※は総合医療教育研修センター兼任

千葉大学卒後臨床研修指導医養成ワークショップ（第 24 回）

開催日及び開催地

- (1) 開催日：2026 年 2 月 21 日（土）、2026 年 2 月 122 日（日）
(2) 開催地：千葉市中央区亥鼻 1-8-1 千葉大学医学部附属病院 クリニカルスキルズセンター スキルトレーニング室

講習会実施担当者

(1) 講習会主催責任者	総合医療教育研修センター 教授（センター長）	伊藤 彰一
(2) 講習会企画責任者	総合医療教育研修センター 講師	笠井 大
(3) 講習会世話人	総合医療教育研修センター 教授（センター長） 〃 特任教授 〃 講師 〃 特任講師 〃 特任助教 〃 特任助教	伊藤 彰一 清水 郁夫 笠井 大 荒木 信之

	千葉大学大学院医学研究院 特任助教	栗原 俊二郎 寺本 直弥 尾崎 尚人
(4)講師	総合医療教育研修センター 特任助教	木村 康彦

FD 実施（その他）

実施日時	実施場所	内容	講師
2024/9/22	医療の質・安全学会 医療安全管理者養成 研修	医療安全のための研修の企画・運営・評価	清水 郁夫
2024/11/21	信州大学衛生管理者・安全管理者研修	リスクマネジメントと効果的な安全教育の進め方	清水 郁夫
2024/12/1	岡山大学卒後臨床研修指導医講習会	医療安全におけるコミュニケーション（コミュニケーションによる事故予防と経験からの成長）	清水 郁夫
2025/2/7	セミナー室 2	医療プロフェッショナリズム演習（ナラティブ・メディスン）の見学・意見交換	桐山 加奈子 宮田 靖志

6. 教育管理

委員会活動・兼務

医学部／大学院医学研究院

医学教育研究室の教員は、所定の委員会に適宜オブザーバー参加して活動をサポートしている。括弧内は委員長（部会長）および医学教育研究室からの委員を示す。

- 医学部・大学院医学研究院執行部会（副学部長（入試・教育担当）：伊藤彰一）
- 自己点検・評価委員会（委員：伊藤彰一）
- 医学教育委員会（委員：伊藤彰一）
- 学部学務委員会（委員長：伊藤彰一）
 - 基礎／普遍カリキュラム部会（委員：伊藤彰一）
 - 臨床カリキュラム部会（委員：伊藤彰一）
- 学部入試委員会（委員：伊藤彰一）
- 修学資金制度委員会（委員長：伊藤彰一）
- 倫理教育委員会（委員：伊藤彰一）
- 企画戦略委員会（委員：伊藤彰一）
- 医学系総合研究棟（治療学研究棟）計画委員会（委員：伊藤彰一）
- 千葉大みらい医療基金運営委員会（委員：伊藤彰一）
- 東金九十九里地域医療センターの支援に係る検討WG（座長：伊藤彰一）
- 千葉医学会（評議員：伊藤彰一、笠井大）
- ゐのはな同窓会（理事：伊藤彰一）

医学部附属病院

総合医療教育研修センターの教員は、所定の委員会に適宜オブザーバー参加して活動をサポートしている。括弧内は委員長および総合医療教育研修センターからの委員を示す（アテンディングを除く）。

- 医学部附属病院執行部会（病院長補佐（教育担当）：伊藤彰一）
- 医学部附属病院運営会議（委員：伊藤彰一）
- 医学部附属病院実務者会議（委員：笠井大）
- 医師臨床研修管理委員会（委員長：伊藤彰一 委員：笠井大、清水郁夫、田島寛之、木村康彦）
- 卒後臨床研修カリキュラム専門委員会（委員長：伊藤彰一 委員：笠井大、木村康彦）
- 看護師特定行為研修管理委員会（委員長：伊藤彰一 委員：酒井郁子、笠井大、藤澤陽子、新井加代子、山崎友宏、
- 看護師特定行為等管理委員会（委員：伊藤彰一、酒井郁子、清水郁夫）
 - 活動推進部会（委員：伊藤彰一、藤澤陽子）
 - 手順書等審査部会（委員長：清水郁夫 委員：伊藤彰一、新井加代子）
 - 実装評価部会（委員長：酒井郁子 委員：山崎友宏）
- コミュニケーション戦略会議（委員：笠井大）

- 医師キャリア支援センター会議（委員：笠井大）
- 災害予防委員会（委員：笠井大）
- 将来計画・再開発検討委員会（委員：笠井大）
- 包括的せん妄ケアチーム（チーム長：酒井郁子）
- 東金九十九里地域臨床教育センター（センター長：伊藤彰一 副センター長：笠井大）
- 医療の質・安全管理委員会（委員：清水郁夫）
- 事例検討委員会（委員：清水郁夫）
- 感染制御マネージャー（ICM）リンク会議（委員：田島寛之）

千葉大学（医学部、医学部附属病院以外）

- 千葉大学 将来構想検討 WG（委員：伊藤彰一）
- 看護学研究科附属専門職連携教育研究センター（センター長：酒井郁子 運営委員：笠井大、伊藤彰一、臼井いづみ）
- イノベーション教育推進専門委員会（委員：伊藤彰一）
- FD 推進専門委員会（委員長：伊藤彰一）
- 国際教育センター運営会議（委員：伊藤彰一）
- 国際教育センター派遣推進部会（副部会長：伊藤彰一）
- アカデミック・リンク・センター（兼務教員：伊藤彰一）
- 亥鼻地区 ENGINE 推進ワーキンググループ（委員長：伊藤彰一 委員：塚本知子）
- 亥鼻地区事業場代議員（医学研究院・特定雇用：小野寺みさき）
- ソフトウェア・ライセンス専門部会（委員：小野寺みさき）
- 千葉大学 国際未来教育基幹キャビネット スマートラーニングセンター運営会議（委員：小野寺みさき）
- 千葉大学情報危機対策チーム（C-CSirt）（医学研究院・医学部部局メンバー：小野寺みさき）
- グローバル・キャンパス推進機関会議（委員：酒井郁子）
- 看護学研究院執行部会（副研究院長：酒井郁子）
- 看護学研究院大学院教務委員会（委員：酒井郁子）
- 看護実践学コース検討部会（委員長：酒井郁子）
- 看護学研究院国際活動委員会（委員：酒井郁子）
- 看護学研究院学術推進企画委員会（委員：酒井郁子）
- 看護学研究院点検評価委員会（委員：酒井郁子）
- 看護学研究院長期計画委員会（委員：酒井郁子）
- 専門職連携教育研究センター将来構想委員会（委員長：酒井郁子 委員：伊藤彰一）

千葉大学以外

- 文部科学省
 - 高等教育局医学教育課（技術参与：尾崎尚人）
- 厚生労働省
 - 医道審議会（専門委員：酒井郁子）
 - 医師国家試験改善検討部会（委員：伊藤彰一）

- 医政局看護課 特定行為研修の組織定着化支援事業推進に係るワークショップ等
開催事業実施団体の公募に係る評価委員会（委員：伊藤彰一）
- NPO 法人千葉医師研修支援ネットワーク（常務理事：伊藤彰一）
- NPO 法人千葉県キャリアアップ就職支援センター（センター長：伊藤彰一）
- 千葉県健康福祉部医療整備課
 - 千葉県臨床研修審査専門員（清水郁夫）
 - 医師のキャリア形成に係るワーキンググループ（委員：伊藤彰一）
 - 千葉県医師キャリアサポーター（メンバー：鋪野紀好）
- 医療系大学間共用試験実施評価機構
 - 医学生共用試験 OSCE 関連委員会
 - OSCE 推進会議（委員長：伊藤彰一）
 - OSCE のあり方検討 WG（副委員長：鋪野紀好 委員：伊藤彰一）
 - 到達基準検討委員会（委員長：伊藤彰一 委員：清水郁夫）
 - 実施管理委員会（委員長：伊藤彰一 副委員長：鋪野紀好）
 - 認定評価者小委員会（委員：伊藤彰一）
 - 認定標準模擬患者小委員会（副委員長：山内かづ代）
 - 事後評価解析委員会（副委員長：伊藤彰一）
 - 学修・評価項目検討委員会（委員：伊藤彰一）
 - 医学生共用試験 CBT 関連委員会
 - CBT 推進会議（委員：伊藤彰一）
 - 将来企画調整委員会（委員：伊藤彰一）
 - 試験信頼性妥当性検討委員会（委員：伊藤彰一）
 - AI 活用検討 WG（委員：伊藤彰一）
 - 合理的配慮支援委員会（委員：清水郁夫）
- 日本専門医機構
 - 総合診療専門研修 広報部会（委員：鋪野紀好）
- 日本医療教育プログラム推進機構
 - 基本的臨床能力評価試験 実行委員会（委員：鋪野紀好）

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

- 千葉地域医療教育統括会議（委員：伊藤彰一）
- 千葉地域医療教育推進委員会（委員長：伊藤彰一 委員：鋪野紀好、清水郁夫、荒木信之）
- 千葉地域医療教育評価委員会（委員：田島寛之）

質の高い臨床教育・研究の確保事業

- 臨床教育研究統括会議（委員：伊藤彰一）
- 臨床教育研究推進委員会（副委員長：伊藤彰一 委員：笠井大、吉田幸恵、鋪野紀好、荒木信之）
- 臨床教育研究評価委員会（委員：清水郁夫、田島寛之）

模擬患者養成・管理

千葉大学いのはな SP 会（日本語模擬患者）

2025 年度末時点で計 29 名の模擬患者がいのはな SP 会に所属。火曜日午後に定例でミーティングを行っている。2025 年度は以下の授業・試験に参加した。

担当教員：笠井 大、田島 寛之 担当職員：根岸 智子

種別	名称	対象学部	対象年次
授業	臨床入門・コミュニケーションⅡ	医学部	3 年次生
授業	臨床入門・コミュニケーションⅢ	医学部	4 年次生
授業	IPE Step 4	医・薬・看護学部	4 年次生
試験	臨床実習前 OSCE	医学部	4 年次生
試験	臨床実習前 OSCE	看護学部	3 年次生
試験	臨床実習後 OSCE	医学部	6 年次生
試験	臨床実習後 OSCE, 追試	医学部	6 年次生

英語模擬患者

2025 年度末時点で計 16 名の英語模擬患者が協力者として登録されている。2025 年度は以下の授業・試験に参加した。

担当教員：塚本知子、Nusrat Fatema 担当職員：松本 徹

種別	名称	対象学部	対象年次
授業	医学英語Ⅰ・Ⅱ (EMPⅠ・Ⅱ)	医学部	1・2 年次生
試験	医学英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (EMPⅠ・Ⅱ・Ⅲ)	医学部	1・2・3 年次生
授業	医学英語アドバンスト(AME)	医学部	4～5 年次生

7. 国際交流

派遣実績（医学部）

協定校（非協定校含む）	所在国	派遣（人）	派遣学年	内容
イリノイ大学 シカゴ校	アメリカ	5	5 年次(5)	臨床実習留学
トーマスジェファーソン 大学	アメリカ	1	5 年次	臨床実習留学
トロント大学	カナダ	4	5 年次	臨床実習留学
インジェ大学	韓国	3	5 年次	臨床実習留学
南洋理工大学	シンガポ ール	1	5 年次	臨床実習留学
カリフォルニア大学アー バイン校	アメリカ	3	5 年次	臨床見学実習
デュッセルドルフ 大学	ドイツ	2	5 年次	臨床実習留学
東フィンランド大学	フィンラン ド	3	5 年次	臨床実習留学
コートダジュール大学	フランス	2	5 年次	臨床実習留学
マヒドン大学	タイ	1	5 年次	臨床実習留学
ホーチミン医学薬学大学	ベトナム	1	5 年次	臨床実習留学
ハワイ大学	アメリカ	8	6 年次(1), 5 年次(7)	シミュレーション 研修プログラム
レスター大学	英国	2	5 年次	GRIP プログラム
リオグランデドスール連 邦大学	ブラジル	1	5 年次	ブラジル南部巡回 診療プログラム
IFMSA（非協定校）	ドイツ	1		

受入実績（医学部）

協定校	所在国	受け入れ (人)	受け入れ学年	内容
インジェ大学	韓国	2		臨床実習留学
マヒドン大学	タイ	2		臨床実習留学
国立台湾大学	台湾	2		臨床実習留学
台北医学大学	台湾	2		臨床実習留学
南洋理工大學	シンガポール	2		臨床実習留学
コートダジュール大学	フランス	3		臨床実習留学
デュッセルドルフ大学	ドイツ	1		臨床実習留学
ライプツィヒ大学	ドイツ	1		臨床実習留学
シャリテ医科大学	ドイツ	1		臨床実習留学
ハサヌディン大学	インドネシア	5		臨床実習留学
レスター大学	英国	2		臨床実習 (GRIP)
IFMSA(非協定校)	チェコ	1		

受入実績（附属病院看護部）

見学日	テーマ	見学者	内容
7月15日	日本における高度急性期 病院の役割機能と看護に ついて	香港大学、台北医科大学 5名	病院案内 看護部紹 介、見学（ヘリポート、 ICU,手術部、ER,ひが し棟10階、患者支援 部、実習中の学生と交 流
11月5日	日本における高度急性期 病院の役割機能と看護職 の活動	ガジャマダ大学 大学 院生15名	病院案内、看護部紹 介、施設見学

海外視察と留学協定締結交渉（医学部・看護学部・IPERC等）

<訪問>

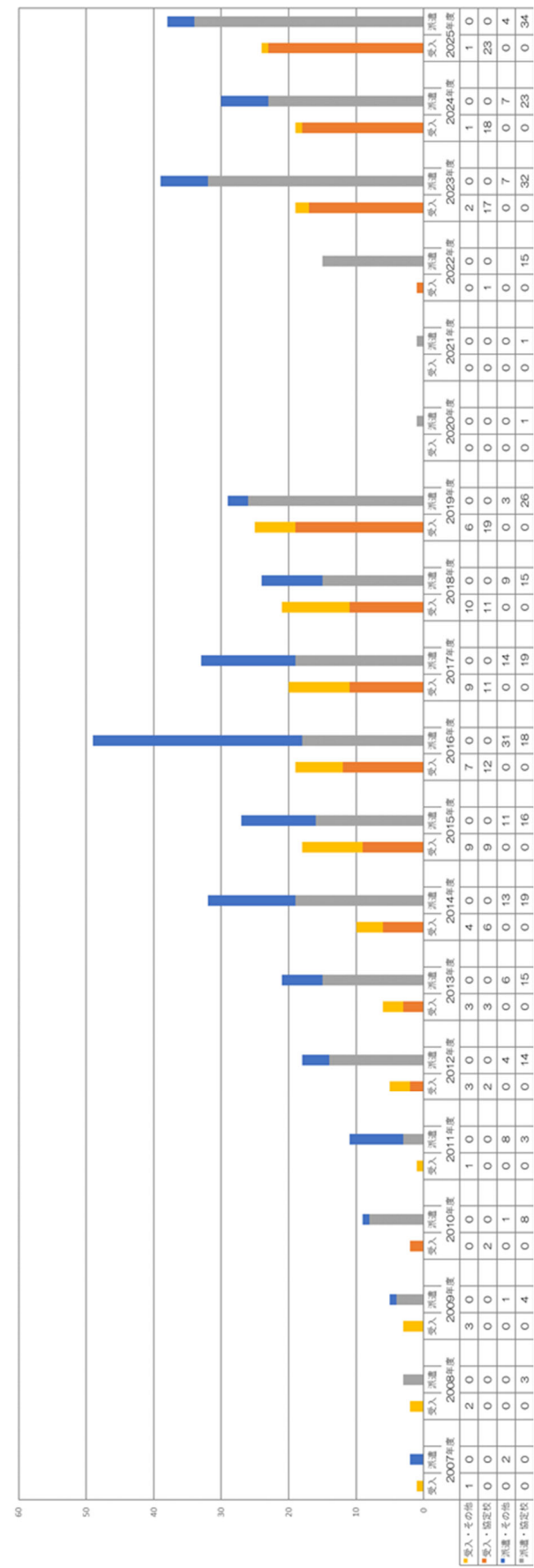
期間	内容	訪問先（国）	訪問者
2025/5/21-5/23	①インジェ千葉合同医学 教育セミナー②留学プロ グラム意見交換	インジェ大学 （韓国）	伊藤彰一、田邊政裕、 清水郁夫、塚本知子
2026/2/17-2/21	①臨床実習留学の視察② 留学プログラム意見交換	コートダジュ ール大学（フ ランス）	塚本知子

2026/3/3-3/8	①臨床実習留学の視察② 留学プログラム意見交換	シャリテ医科 大学（ドイ ル）	伊藤彰一、尾崎尚人、 塚本知子
--------------	----------------------------	-----------------------	--------------------

< 来校 >

期間	内容	大学（国）	訪問者
2026/1/14	①意見交換	韓国医科大学 協会学（韓 国）	Bo Young Yoon,他 2 名
2025/7/21	①留学プログラム説明会 （オンライン）	ハワイ大学 （アメリカ）	Benjamin W Berg,
2026/3/10	①留学プログラム説明会 ②意見交換	リオグランデ ドスール大学 （ブラジル）	森口エミリオ秀幸
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム （亥鼻記念講堂） ②大学病院視察	フリーステイ ト大学（南ア フリカ）	Elizabeth Cornelia Janse van Vuuren, Ronelle Jansen
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム （亥鼻記念講堂） ②大学病院視察	カタール大学 （カタール）	Alla El-Awaisi, Sawsan Ibrahim Almukdad
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム （亥鼻記念講堂） ②大学病院視察	ガジャマダ大 学（インドネ シア）	Uki Noviana, Sri Mulyani
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム （亥鼻記念講堂） ②大学病院視察	ハノイ医科大 学（ベトナ ム）	Nguyen Thi Lan Anh, Truong Quang Trungh
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム （亥鼻記念講堂） ②大学病院視察	レスター大学 （イギリス）	Maria Keerig, Samuel Adcock
2025/3/9-10	①GRIP 国際フォーラム （亥鼻記念講堂） ②大学病院視察	シンビオシス 国際大学 （インド）	Lelith Daniel
2025/5/8	①GRIP サービスラーニン グセミナー（医学部）	レスター大学 （イギリス）	バラシー・クマラベル 他

千葉大学医学部国際プログラム留学者推移



8. 広報活動

医学部／医学部附属病院（見学会）

実施日	対象	内容	場所	担当
2025/6/21	医学部後援会	医学系総合研究棟見学	医学系総合研究棟（治療学研究棟）	小野寺 みさき
2025/6/21	医学部後援会	講演「専門研修」	みのはな記念講堂	伊藤 彰一

医学研究院／医学部／医学部附属病院（広報資料）

- ・ 該当なし

Web ちば臨床研修病院ナビ

実施日	対象	内容	場所	担当
2025/5/31	医学生	Web ちば臨床研修病院ナビ 2025 夏	オンライン	【千葉大学】 笠井 大、田島 寛之、他 【NPO 法人 千葉医師研修支援ネットワーク】 伊藤 彰一、鋪野 紀好、小野寺 みさき、木村 康彦、他
2026/3/7	医学生	Web ちば臨床研修病院ナビ 2026 春	オンライン	【千葉大学】 笠井 大、他 【NPO 法人 千葉医師研修支援ネットワーク】 鋪野 紀好、木村 康彦、他

千葉大学医学部附属病院看護部オープンホスピタル

開催日	内容	参加者
2025/8/1.7.15.20.27.29 9/4 ,	病院・看護部紹介 新人看護師教育体制紹介 部署見学・看護体験 看護師との交流会	213 名
2026/ 2 /13.19.25. 2026/ 3 / 5.13.17.19		192 名

広報活動（その他）

- ・ 鋪野紀好 NHK BS4K「総合診療医ドクターG NEXT」

(3)「左胸が痛い」

2025 年 3 月 30 日（日）11:30～12:15

9. 学会活動

日本医学教育学会

- 代議員：伊藤彰一、鋪野紀好、臼井いづみ
- 医学教育専門家委員会委員：伊藤彰一
- 日本医学教育学会 医学教育専門家拡大 WG 委員：伊藤彰一
- 臨床研修委員会委員：伊藤彰一
- 学術大会運営委員会副委員長：鋪野紀好
- 広報・情報基盤委員会委員：臼井いづみ
- 多職種連携教育委員会委員：臼井いづみ
- 日本保健医療福祉連携教育学会
 - 副理事長：酒井郁子
 - 国際委員会 委員長：酒井郁子
 - 編集委員：笠井大
- 日本神経放射線学会
 - 代議員：伊藤彰一
 - 広報委員会委員：伊藤彰一
 - 渉外委員会委員：伊藤彰一
 - 法人化推進委員会委員：伊藤彰一
- 日本内科学会
 - 内科医リカレント教育ワーキンググループ委員：鋪野紀好
- 日本病院総合診療医学会
 - 評議員：鋪野紀好
 - 病院総合診療専門医研修プログラムワーキンググループ委員：鋪野紀好
 - 病院総合診療専門医試験委員会実行委員長：鋪野紀好
- 日本プライマリ・ケア連合学会
 - 代議員：鋪野紀好、塚本知子
 - プライマリ・ケア教育委員会副委員長：鋪野紀好
 - 多職種連携委員会委員：酒井郁子
- ACP Japan Chapter（米国内科学会日本支部）
 - Physician's Well-being Committee 委員長：鋪野紀好
- 千葉東洋医学シンポジウム
 - 世話人：伊藤彰一
- 日本看護科学学会
 - 理事長：酒井郁子
- 千葉看護学会
 - 評議員：酒井郁子
 - 評議員：臼井いづみ
 - 若手研究者育成委員会委員：臼井いづみ
- 日本看護学教育学会

- 評議員：酒井郁子
- 看護系学会協議会
 - 理事（高度実践看護師制度の推進担当）：酒井郁子
- 日本看護シミュレーションラーニング学会
 - 理事：臼井いづみ
 - 研修企画委員会委員長：臼井いづみ
- 日本小児看護学会
- 第24回小児がん看護学術集会
 - プログラム委員：渡邊 朋

10. 学術活動

学会発表（特別講演・シンポジウム・ワークショップ）

- 伊藤 彰一. 診療参加型臨床実習の充実に向けて ～千葉大学の取組の紹介～京都府立医科大学 夏季課題集中検討会 2025 年 8 月 9 日
- 伊藤 彰一. 医学生共用試験の公的化について日本私立薬科大学協会通常総会 2025 年 6 月 3 日
- 伊藤 彰一. 千葉大学や千葉県における医療人育成の取り組み ～教育の価値を高める拠点形成と地域連携を目指して～熊本県地域医療支援機構講演会 2025 年 6 月 5 日
- 伊藤 彰一. 診療参加型臨床実習の充実に向けて ～千葉大学の取り組みの紹介～長崎大学・熊本大学・鹿児島大学合同フォーラム 次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト 2025 年 12 月 9 日
- 笠井 大. 論文執筆における生成 AI の実践的活用とその限界 2025 年度第 1 回 J-STAGE セミナー 2025 年 11 月 4 日
- 笠井 大. 働き方改革と若手教育：Z 世代との関わり方と知っておいてほしい教育の基本 JCHO 若狭高浜病院 職員向け講演会 2025 年 12 月 16 日
- 笠井 大. 働き方改革と若手教育 ―Z 世代とのかかわりと知っておいてほしい教育の基本―令和 7 年度 松戸市立総合医療センター管理職研修 2026 年 3 月 5 日
- 笠井 大. 研究・論文執筆における生成 AI の実践的活用と注意点令和 7 年度群馬大学大学院医学系研究科 FD 2026 年 3 月 25 日
- 笠井 大. 医学教育と生成 AI 医学連 自治会交流集会 in 山梨 2025 年 11 月 29 日
- 笠井 大. 医師養成と生成 AI ―千葉大学医学部での医学教育の歴史と展望―千葉大学亥鼻祭 2025 年 11 月 2 日
- 笠井 大. 生成 AI が切り拓く 看護学研究と論文執筆 ― 実践ガイドとリスクマネジメント ―名古屋市大学大学院看護学研究科 令和 7 年度看護研究セミナー 2025 年 7 月 15 日
- 笠井 大. 医学生・研修医・指導者のための生成 AI 活用法山梨大学医学部 教育 FD 2025 年 9 月 19 日
- 鋪野 紀好. 薬剤師の視点から臨床検査値のピットフォールを回避するプライマリ・ケア認定薬剤師研修会 2025 年 5 月 12 日
- 医学教育学会研究推進委員会, 菊川 誠, 今福 輪太郎, 大久保 由美子, 石川 ひろの, 片岡 仁美, 鋪野 紀好, 武富 貴久子, 野村 理, 林 幹雄, 藤倉 輝道, 宮地 由佳. 第 19 回 医学教育研究技法ワークショップ 2025 年 4 月 13 日
- 松山 泰, 三原 弘, 黄 世捷, 鋪野 紀好, 田鎖 愛理, 林 幹雄, 早稻田 勝久, 菅野 武, 松本 卓子, 才津 旭弘. 国試 CBT 化を見据えた動画・音声付 ICT 教材を作成しよう 2025 年 7 月 27 日
- 鋪野 紀好. 医学教育専門家 A コース 2026 年 3 月 1 日
- 鋪野 紀好. アドバンス WS (医学教育学会員向け企画) 2026 年 3 月 8 日
- 鋪野 紀好, 林 幹雄, 野村 理, 今福 輪太郎, 片岡 仁美. 医療者教育国際学会抄録作成ワークショップ医療者教育国際学会抄録作成ワークショップ 2026 年 2 月 15 日

- 鋪野 紀好. 第 20 回医学教育研究技法ワークショップ日本医学教育学会 2026 年 3 月 8 日
- 多胡 雅毅,志水 太郎,青木 のぞみ,大塚 勇輝,佐々木 陽典,鋪野 紀好,高橋 宏瑞,徳島 圭宜,川村 廉. 病院総合診療専門研修と試験の Tips (Vol. 3)第 31 回日本病院総合診療医学会学術総会 2025 年 9 月 27 日
- 多胡 雅毅,鋪野 紀好,志水 太郎,佐々木 陽典,高橋 宏瑞,和才 直樹,安本 有佑. 症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (Vol.13)第 31 回日本病院総合診療医学会学術総会 2025 年 9 月 27 日
- 多胡 雅毅,鋪野 紀好,佐々木 陽典,和足 孝之,高橋 宏瑞. ホスピタリストブートキャンプ vol.3〜外来診療応用編第 31 回日本病院総合診療医学会学術総会 2025 年 9 月 28 日
- 鋪野 紀好,多胡 雅毅,志水 太郎,佐々木 陽典,和足 孝之,高橋 宏瑞. 症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (Vol.14)第 32 回日本病院総合診療医学会学術大会 2026 年 2 月 21 日
- 鋪野 紀好,多胡 雅毅,志水 太郎,佐々木 陽典,和足 孝之,高橋 宏瑞. ホスピタリストブートキャンプ vol.4〜病棟管理編第 32 回日本病院総合診療医学会学術大会 2026 年 2 月 22 日
- 大久保 由美子,藤倉 輝道,石川 ひろの,菊川 誠,武富 貴久子,今福 輪太郎,片岡 仁美,鋪野 紀好,野村 理,宮地 由佳,林 幹雄. 医学教育研究の基本を学ぶワークショップ第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- 鋪野 紀好. AI を武器に! 次世代内科医の未来戦略米国内科学会日本支部年次総会・講演会 2025 年 6 月 29 日
- 清水 郁夫. 腑に落ちる安全文化の作り方千葉県病院局医療安全講演会 2025 年 10 月 25 日
- 清水 郁夫. 医療安全におけるコミュニケーション（コミュニケーションによる事故予防と経験からの成長）岡山大学病院卒後臨床研修指導医講習会 2025 年 11 月 2 日
- 清水 郁夫,田中 和美,西村 礼子. 職種共通の日本版医療安全コンピテンシーフレームワークを作ろう（医学教育部門編）第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 25 日
- 清水 郁夫. 臨床検査医学における患者安全管理と安全のための教育第 72 回日本臨床検査医学会学術集会 2025 年 8 月 30 日
- 伊藤 彰一,鋪野 紀好,清水 郁夫,塚本 知子,笠井 大,山内 かづ代,荒木 信之,田島 寛之,Fatema Nusura,小野寺 みさき,木村 康彦. 医学教育実践を「カイゼン」のフレームワークで最適化しよう第 91 回医学教育セミナーとワークショップ 2025 年 5 月 29 日
- 林 幹雄,野村 理,鋪野 紀好,清水 郁夫,水本 潤希,藤川 裕恭,菊川 誠. Keys to a Strong Research Abstract : 国際学会に採択される医療者教育学抄録作成の鍵第 91 回医学教育セミナーとワークショップ 2025 年 5 月 30 日
- 田中 和美,岸 美紀子,渡辺 恵,清水 郁夫. カリキュラムに医療安全教育を組み込むには? 第 91 回医学教育セミナーとワークショップ 2025 年 5 月 31 日
- 鋪野 紀好. 患者再現 VTR を用いた基本的臨床能力評価第 57 回日本医学教育学会大会 オンデマンド

- 鋪野 紀好. 教育セッションコードの分析結果とその活用について第 16 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2025 年 6 月 21 日
- 上原孝紀, 大平善之, 太田光泰, 横川大樹, 李宇, 柳田育孝, 小島淳平, 佐藤瑠璃香, 石塚晃介, 塚本知子. 録画したカンファレンスを用いた PBL(問題基盤型学習)は診断推論能力を向上させる可能性がある第 57 回日本医学教育学会大会 オンデマンド
- 桐山加奈子. 肥満症とナラティブ～表現の力とケア、エンパワメント千葉肥満症研究会 2025 年 11 月 19 日
- 桐山加奈子. AI が情報を扱う時代に:表現としてのナラティブが拓くケアとエンパワメント 第 43 回内分泌糖尿病心理行動研究会 2026 年 3 月 1 日
- 桐山加奈子. ナラティブ・メディスンと臨床コーチング: 表現の力とケア、エンパワメント 第 17 回日本臨床コーチング研究会学術集会総会 2025 年 8 月 3 日
- 桐山加奈子. ナラティブの教育実践法～表現へのアプローチが生み出す関係性の構築・ケア・エンパワメント 第 98 回日本内分泌学会総会 2025 年 6 月 7 日

学会発表（一般発表）

- Yohei Matsumoto, Shoko Horita, Yasuhiko Kimura, Misaki Onodera, Shoichi Ito. Who learns longer?: Determinants of the length of independent learning time at a Japanese medical school WFME World Conference 2025 2025 年 5 月
- 鋪野 紀好, 志村 華絵, 山本, 典子, 石塚 晃介, 森 谷満, 田中 英美理, 西村 義人, 佐土原 道人, 野中 沙織, 栗山 明. Supporting physician well-being: Latest evidence and practical approaches for burnout prevention American College of Physicians Japan Chapter Annual Meeting 2025 2025 年 6 月 29 日
- Kiyoshi Shikino, Kazuyo Yamauchi, Nobuyuki Araki, Hajime Kasai, Shoichi Ito. Community-based clinical clerkships to develop generalism competencies in Japanese undergraduate medical education: an observational study An International Association for Medical Education 2025 年 8 月 25 日
- Kiyoshi Shikino, Nobuyuki Araki, Naoto Ozaki. Community-Oriented Medical Education Session for GRIP Interprofessional Service Learning Community-Oriented Medical Education Session for GRIP Interprofessional Service Learning 2025 年 5 月 8 日
- Kiyoshi Shikino, Dilip Dhupelia, Prue Wallin, Shoichi Ito, Nobuyuki Araki, Naoto Ozaki. Rural and community medical education: A collaborative discussion between Australia and Japan Rural and community medical education: A collaborative discussion between Australia and Japan 2025 年 4 月 17 日
- Risa Hirata, Hitomi Shimada, Naoko E Katsuki, Eiji Nakatani, Kiyoshi Shikino, Makiko Ono, Midori Tokushima, Yomoyo Nishi, Shizuka Yaita, Chihiro Saito, Kaori Amari, Kazuya Kurogi, Yoshimasa Oda, Mariko Yoshimura, Shun Yamashita, Hidetoshi Aihara, Motoshi Fujiwara, Yoshinori Tokushima, Masaki Tago. EXTERNAL VALIDATION OF A FALL PREDICTIVE MODEL FOR INPATIENTS

IN JAPANESE LONG-TERM CARE HOSPITALS: A MULTI-CENTERED OBSERVATIONAL STUDY USING THE SAGA FALL RISK MODEL 2 The Society of Hospital Medicine Converge 2025 2025 年 4 月

- Naoko E. Katsuki,Risa Hirata,Shizuka Yaita,Tomoyo Nishi,Hitomi Shimada,Chihiro Saito,Yoshimasa Oda,Eiji Nakatani,Kaori Amari,Kazuya Kurogi,Kiyoshi Shikino,Mariko Yoshimura,Maiko Ono,Midori Tokushima,Hidetoshi Aihara,Motoshi Fujiwara,Shun Yamashita,Yoshinori Tokushima,Masaki Tago. External validation of a prediction model for fall-related injuries and common predictors across multiple hospitals: A retrospective observational study The Society of Hospital Medicine Converge 2025 2025 年 4 月
- Risa Hirata,Kiyoshi Shikino,So Motomura,Orisa Nakashima,Noriko Ide,Tomoyo Nishi,Shizuka Yaita,Naoko E Katsuki,Shun Yamashita,Hidetoshi Aihara,Motoshi Fujiwara,Yoshinori Tokushima,Masaki Tago. PROGRESSIVE BILATERAL LEG EDEMA DUE TO INTRAVASCULAR LARGE B-CELL LYMPHOMA The Society of Hospital Medicine Converge 2025 2025 年 4 月
- 長谷部 圭亮,鋪野 紀好,河口 謙二郎,山内 かづ代,荒木 信之,青木 信也,曾我井 大地,村山 愛,森 徳郎,尾崎 尚人,山田 悟史,塩谷 竜之介,松山 泰,伊藤 彰一. Community diagnosis and medical students' community orientation:A mixed methods study 第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- 尾崎 尚人,鋪野 紀好,荒木 信之,山内 かづ代,高橋 在也,青木 信也,勝山 陽太,曾我井 大地,宮本 真衣,村山 愛,森 徳郎,山田 悟史,長谷部 圭亮,杉田 昌昭,伊藤 彰一. Impact of community hospital attending physicians on students' medical procedures 第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- 藤川 裕恭,田宗 秀隆,西崎 祐史,鋪野 紀好,志水 太郎,山本 祐,小林 裕之,徳田 安春. 研修医のペイシェント・ケア・オーナーシップ: 日本全国調査から見た病院種類に関する洞察 第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- Ikuo Shimizu. Simulation-based learning and CCSC Towards a beloved simulation center 13TH CHIBA-INJE HEALTHCARE EDUCATION JOINT SEMINAR 2025 年 5 月 22 日
- Ikuo Shimizu,Mariko Morishita,Misako Katori,Cocoro Hirai,Kazumi Tanaka,Yumi Matsumura. Development and Validation of Model Sessions for Patient Safety Learning in Undergraduate Medical Curricula a nationwide project in Japan AMEE 2025 2025 年 8 月 25 日
- Ikuo Shimizu. Education for Patient Safety Improvement: competencies, strategies, and assessment International Conference : Competency and Collaboration in Health Professions Education (Shin Kong Wu Ho-Su Memorial Hospital) 2025 年 9 月 28 日
- Ikuo Shimizu,Kiyoshi Shikino,Yukinori Harada,Masaru Kurihara,Kazumi Tanaka,Yuichi Masuda,Satoshi Watanuki,Yuko Ohishi,Kosuke Ishidsuka,Taro Shimizu. Analysis of Diagnostic Errors in the National Adverse Event Reports

Database in Japan the 20th Annual Congress of the Japanese Society for Quality and Safety in Healthcare. 2025 年 11 月 8 日

- Zaiya Takahashi, Masako Osako. Japanese Traditional and Contemporary Views of Life and Death and Implications for End-of-life care 17th International Federation on Aging Conference, South Africa, September 2025 2025 年 9 月 15 日
- 高橋 在也, 鋪野 紀好, 荒木 信之, 山内 かづ代, 伊藤 彰一. Changes in educational competence on Generalism through training of supervisors: a mixed method 第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 25 日
- 鋪野 紀好, 山内 かづ代, 荒木 信之, 尾崎 尚人, 笠井 大, 田島 寛之, 伊藤 彰一. Community-based clinical clerkships to develop “Generalism” competencies: a cross-sectional study 第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 27 日
- 田島 寛之, 笠井 大, 竹田 健一郎, 内海 尊雄, 古川 豊, 臼井 いづみ, 鈴木 拓児, 酒井 郁子, 伊藤 彰一. Interprofessional Cross-Sectional Survey of Mechanical Ventilation Education 第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- 菊地 俊介, 笠井 大, 吉田 幸恵, 清水 郁夫, 笹山 大遥, 小野寺 みさき, 田島 寛之, 鋪野 紀好, 荒木 信之, 塚本 知子, 木村 康彦, 山内 かづ代, 伊藤 彰一. The Reality of Medical Students’ Liberal Arts Class Selection 第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 27 日
- 荒木 信之, 鋪野 紀好, 山内 かづ代, 尾崎 尚人, 青木 信也, 勝山 陽太, 曾我井 大地, 宮本 真衣, 村山 愛, 森 徳郎, 山田 悟史, 杉田 昌昭, 伊藤 彰一. The impact of summer fieldwork on medical students’ community orientation: A mixed methods study 第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- 鋪野 紀好. Assessment of core clinical competencies using patient simulation video 第 57 回日本医学教育学会大会 オンデマンド
- 片山 皓太, 廣瀬 雅宣, 藤井 啓世, 石井 大太, 井上 陽子, 家 研也, 青木 拓也, 和足 孝之, 西崎 祐史, 片岡 仁美, 徳田 安春, 鋪野 紀好, 福井 翔, 志水 太郎, 山本 祐, 大平 善之. Visualization of Time-at-bedside and Core Clinical Competencies in Clinical Clerkships 第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 25 日
- 海老原 颯人, 笠井 大, 清水 郁夫, 鋪野 紀好, 田島 寛之, 木村 康彦, 伊藤 彰一. Can AI be a clinical clerkship partner?-A trial and analysis of an AI mentor 第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 25 日
- 加瀬 舞香, 笠井 大, 川崎 剛, 吉田 幸恵, 塩谷 優, 村井 優志, 葉山 奈美, 鈴木 拓児. A case of CAM-resistant pulmonary M. avium that achieved bacterial negativity after the introduction of Amikacin liposome inhalation suspension (ALIS) 第 65 回日本呼吸器学会学術講演会 2025 年 4 月 13 日
- 笠井 大. The Potential of Generative AI in Research and Academic Writing-Practical Applications, Risk Management, and the Required Mindset- 日本麻酔科学会第 72 回学術集会 2025 年 6 月 7 日
- 松本 暢平, 中村 絵里, 伊藤 彰一. 必修化された極めて短期の留学は「グローバル人材」

- の育成にどのように寄与するのか？グローバルビジネス学会 研究発表会 2025 年 11 月 30 日
- 林 知歩,三浦 慶一郎,笠井 大,伊藤 彰一,朝比奈 真由美,田邊 政裕,野村 行弘,中口 俊哉. 拡張現実型聴診訓練システム EARS の呼吸音同期再生手法の検討日本 VR 医学会 2025 年 8 月 30 日
- 松本 真一,鋪野 紀好,山内 かづ代,荒木 信之,伊藤 彰一. 訪問診療専門クリニックにおける医学生 of 長期臨床実習の受け入れ経験第 7 回日本在宅医療連合学会大会 2025 年 6 月 14 日
- 臼井 いづみ,笠井 大,渡邊 朋,内海 尊雄,木村 康彦,塚本 知子,田島 寛之,広野 さわ,遠藤 展美,鋪野 紀好,酒井 郁子,伊藤 彰一. 既存の実習フレームを活用した専門職連携教育の試行と課題 - 大学病院における daily IPE の実践 - 第 18 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 2025 年 10 月 25 日
- 尾崎 尚人,鋪野 紀好,荒木 信之,野崎 章子,辻野 拓也,飯田 貴映子,山内 かづ代,伊藤 彰一,酒井 郁子. 海外大学との協働によるグローバル IPE 教育実践と地域医療を基盤とした学び : Global & Regional Interprofessional Education Plus Program 第 18 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 2025 年 10 月 25 日
- 中川 友貴,杉山 淳比古,澁谷 和幹,並木 暢大,横田 元,向井 宏樹,羽柴 淳,伊藤 彰一,森雅裕. 発症初期に明らかな頭部 MRI 異常を認めなかった小脳脳幹型副腎白質ジストロフィーの 1 例第 55 回日本神経放射線学会 2026 年 2 月 20 日
- 沈 雨香,武藤 浩子,山本 桃子,木村 康彦,藤本 啓寛,濱中 淳子,吉田 文. 私立大学附属校とは何か: 内部進学率からみた分化と機能の分析日本教育社会学会第 77 回大会 2025 年 11 月 8 日
- 海老原 颯人,笠井 大,清水 郁夫,鋪野 紀好,田島 寛之,木村 康彦,伊藤 彰一. AI は医学生 of 臨床実習パートナーになれるのか? AI 臨床実習メンターのトライアル調査と特性調査第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 25 日
- 菊地 俊介,笠井 大,吉田 幸恵,清水 郁夫,笹山 大遥,小野寺 みさき,田島 寛之,鋪野 紀好,荒木 信之,塚本 知子,木村 康彦,山内 かづ代,伊藤 彰一. 医学生 of 一般教養科目選択 of リアル: その動機と影響要因を探る第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 27 日
- 笠井 大. 研究・論文執筆における 生成 AI の活用 of 可能性 - 実践とリスク管理, 求められる姿勢 - 日本麻酔科学会第 72 回年次学術集会 2025 年 6 月 12 日
- 笠井 大. 働き方改革と若手教育 - Z 世代との関わり方と知っておいてほしい教育 of 基本 - 第 3 回 JCHO 総合診療フォーラム 2025 年 10 月 20 日
- 笠井 大. 生成 AI 時代の医療者教育と研究: 生成 AI とどう向き合うか第 4 回 大阪医科薬科大学 教育機構 三学部合同 FD 2026 年 3 月 6 日
- 濱田 千枝美,笠井 大,向後 千春,田原 卓矢,森木 紀博,清水 郁夫,杉浦 真由美,西城 卓也. 教えて! 明日から使える授業・研修 of 作り方 of コツ! Instructional Design を楽しく学んで, 実践に活かそう!! 第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 25 日
- 笠井 大. 生成 AI を用いた論文執筆 of あり方第 63 回 日本癌治療学会学術集会 2025 年 10 月 17 日

- 海老原 颯人,笠井 大. 生成 AI の教育への応用の実践例 ～臨床実習における AI メンターの開発～第 92 回医学教育セミナーとワークショップ 2025 年 11 月 28 日
- 鋪野 紀好. 総合力・適応力・教育力を有する医師育成 - 千葉大学医学部での地域医療教育の取り組み -TOHO-WS 25 (2025 年度 東邦大学医学部ワークショップ) 2025 年 7 月 30 日
- 鋪野 紀好. 医療者のウェルビーイングを支える - バーンアウト対策の最新知見と実践的アプローチちば在宅医療ことはじめ 2025 年 9 月 12 日
- 西崎 祐史,志水 太郎,山本 祐,鋪野 紀好,片岡 恒史,小林 裕幸,徳田 安春. 働き方改革による臨床研修医の研修環境の変化: 全国観察研究日本医療政策学会第 1 回学術集会 2025 年 6 月 28 日
- 鋪野 紀好. 保健室で役立つ診断推論とフィジカルアセスメントを实践しよう日本教育大学協会養護教諭部会 全国国立大学附属学校連盟養護教諭部会 第 60 回研究協議会 2025 年 8 月 7 日
- 鋪野 紀好. 地域で学ぶ総合的な診療能力: 臨床研修・地域医療研修を豊かにするための教育戦略東京都豊島区医師会 2026 年 3 月 3 日
- 鋪野 紀好. ホスピタリスト指導医のための若手臨床教育湘南鎌倉総合病院 2025 年 10 月 9 日
- 鋪野 紀好. 総合診療教育コードに紐づくコンテンツの実装を見据えて第 16 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2025 年 6 月 21 日
- 吉田 遼,佐藤 瑠璃香,坂本 悠加,小島 淳平,柳田 育孝,李 宇,山下 志保,横川 大樹,鋪野 紀好,塚本 知子,上原 孝紀. 慢性疲労症候群を疑われた倦怠感の原因がトラマドール離脱症状であった 40 歳男性の一例第 31 回日本病院総合診療医学会学術総会 2025 年 9 月 27 日
- 多胡 雅毅,鋪野 紀好,志水 太郎,佐々木 陽典,和足 孝之,高橋 宏瑞,原田 侑典,松田 直人,鈴木 智晴. 生成 AI 時代に求められる総合診療医の能力と臨床実践の革新第 31 回日本病院総合診療医学会学術総会 2025 年 9 月 27 日
- 平田 理紗,香月 尚子,島田 ひとみ,八板 静香,徳島 緑,齋藤 千紘,織田 良正,中谷 英仁,甘利 香織,鋪野 紀好,吉村 麻里子大野每子,黒木 和哉,徳島 圭宜,多胡 雅毅. 転倒による傷害と関連する 15 因子を用いた入院中の転倒傷害予測モデルの開発と検証第 31 回日本病院総合診療医学会学術総会 2025 年 9 月 28 日
- 鋪野 紀好,多胡 雅毅,志水 太郎,佐々木 陽典,和足 孝之,高橋 宏瑞. 病院総合診療専門研修と試験の Tips (Vol.4) 第 32 回日本病院総合診療医学会学術大会 2026 年 2 月 22 日
- 鋪野 紀好,伊藤 彰一,端詰 勝敬,三上 哲夫,清水 郁夫,荒木 信之,高橋 利夫,菊地 美香,朝比奈 真由美,佐々木 陽典. 千葉大学・東邦大学における取り組み 地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を 醸成する地域志向型医療人材養成プログラム第 4 回全国フォーラム 2026 年 1 月 9 日
- 錦織 宏,鋪野 紀好,長谷川 仁志,田中 淳一,矢野 晴美,堀田 晶子,岸 美紀子,及川 沙耶佳,高村 昭輝,大久保 由美子,橋本 忠幸. 日本医学教育学会大会プログラムの挑戦一次世代の医学・医療を拓く医療者教育へ第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 24 日

日

- 海老原 颯人,笠井 大,清水 郁夫,鋪野 紀好,田島 寛之,木村 康彦,伊藤 彰一. AI は医学生の臨床実習パートナーになれるのか?—AI 臨床実習メンターのトライアル調査と特性調査—第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 25 日
- 西崎 祐史,小林 裕幸,莊子 万能,高橋 宏瑞,鋪野 紀好. 医学教育 DX—学びと成長の新しい形—第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 25 日
- 高橋 在也,鋪野 紀好,荒木 信之,山内 かづ代,伊藤 彰一. 総合的に患者・生活者をみる姿勢を涵養するための指導医養成による教育能力の変化: 混合研究第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 25 日
- 片山 皓太,廣瀬 雅宣,藤井 啓世,石井 大太,井上 陽子,家 研也,青木 拓也,和足 孝之,西崎 祐史,片岡 仁美,徳田 安春,鋪野 紀好,福井 翔,志水 太郎,山本 祐,大平 善之. 臨床実習におけるベッドサイド研修時間と基本的診療能力の可視化の取り組み第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 25 日
- 森本 雄気,鋪野 紀好,野村 行弘,伊藤 彰一. 医師国家試験の出題トピックの経時的変化についての分析第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- 荒木 信之,鋪野 紀好,山内 かづ代,尾崎 尚人,青木 信也,勝山 陽太,曾我井 大地,宮本 真衣,村山 愛,森 徳郎,山田 悟史,杉田 昌昭,伊藤 彰一. 夏季フィールドワークが医学生 の地域志向性に与える影響: 混合研究第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- 門田 友宏,山中 洸慶,佐野 友則,松本 恋実,鋪野 紀好,荒木 信之,山内 かづ代,伊藤 彰一. 早期地域医療体験を通じた地域医療への気づき: 医学生の視点によるアクション・リサーチ第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- 鋪野 紀好,山内 かづ代,荒木 信之,尾崎 尚人,笠井 大,田島 寛之,伊藤 彰一. 地域臨床実習における総合的に患者・生活者をみる姿勢の涵養: 横断研究第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 27 日
- 清水 郁夫,田中 和美,伊藤 彰一,相馬 孝博. Patient Journey Mapping を用いた ワークショップの教育的効果 医学生の患者中心性に対する意識変容を探索する逐次的混合研究第 20 回医療の質・安全学会 2025 年 11 月 9 日
- 清水 郁夫,森下 真理子,香取 美佐子,平井 理心,田中 和美,松村 由美. 修正 Delphi 法による卒前カリキュラム向け患者安全授業 GoodPractice 集の策定第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 25 日
- 田島 寛之,笠井 大,竹田 健一郎,内海 尊雄,古川 豊,臼井 いづみ,鈴木 拓児,酒井 郁子,伊藤 彰一. 大学病院における人工呼吸管理教育の多職種横断的現状調査およびニーズ評価第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- 松永 陽華,緑川 遥介,笠井 大,杉浦 寿彦,羽生 裕二,藤本 一志,山本 慶子,内藤 亮,重田 文子,甲賀 かをり,鈴木 拓児. トレプロスチニル持続皮下注射の導入により手術可能となった重症肺高血圧合併子宮体癌の 1 例第 188 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・第 266 回日本呼吸器学会関東地方会合同学会 2025 年 9 月 13 日
- 須田 光,杉浦 寿彦,笠井 大,千代 雅子,佐田 諭己,佐藤 崇,太田 昌幸,池田 純一郎,鈴木 秀海,鈴木 拓児. 先天性肋骨癒合による右中葉拘束に肺 Mycobacterium

avium(M.avium)症に大量喀血を合併した 1 例第 189 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会・第 268 回日本呼吸器学会関東地方会合同学会 2026 年 2 月 28 日

- 平間 隆太郎,葉山 奈美,塩谷 優,八木 翔汰,佐藤 峻,鹿野 幸平,内藤 亮,藤江 舞,臼井 いくみ,笠井 大,清水 郁夫,川崎 剛,伊狩 潤,鈴木 拓児. 多職種が参加する気管支鏡急変対応シミュレーション演習への取り組み第 48 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2025 年 6 月 12 日
- HASEBE Keisuke,鋪野 紀好,河口 謙二郎,山内 かづ代,荒木 信之,青木 信也,曾我井 大地,村山 愛,森 徳郎,尾崎 尚人,山田 悟史,塩谷 竜之介,松山 泰,伊藤 彰一. 地域診断と医学生の地域志向性:混合研究第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- FUJIKAWA Hirohisa,田宗 秀隆,西崎 祐史,鋪野 紀好,志水 太郎,山本 祐,小林 裕幸,徳田 安春. 研修医のペイシエント・ケア・オーナーシップ:日本全国調査から見た病院種類に関する洞察第 57 回日本医学教育学会大会 2025 年 7 月 26 日
- 加瀬 舞香,笠井 大,川崎 剛,吉田 幸恵,塩谷 優,村井 優志,葉山 奈美,鈴木 拓児. アミカシン・リポゾーム吸入用懸濁液(ALIS)導入後に菌陰性化を達成し得た CAM 耐性肺 M.avium 症の一例-ALIS 使用患者からの声-第 65 回日本呼吸器学会学術講演会 2025 年 4 月 13 日
- 案浦 峻,江副 優彦,平田 理紗,鋪野 紀好,織田 良正,牧尾 成二郎,西 知世,大石 透,香月 尚子,相原 秀俊,山下 駿,藤原 元嗣,徳島 圭宜,多胡 雅毅. Percheron 動脈閉塞による両側視床梗塞の一例第 16 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2025 年 6 月 21 日
- 平田 理紗,香月 尚子,八板 静香,徳島 緑,島田 ひとみ,齋藤 千紘,織田 良正,中谷 英仁,甘利 香織,鋪野 紀好,吉村 麻里子,大野 每子,黒木 和哉,徳島 圭宜,多胡 雅毅. 係数調整で改良した多施設対象の転倒傷害予測モデル:多施設後ろ向き研究第 16 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2025 年 6 月 22 日
- 横川 大樹,鋪野 紀好,岸 泰宏,柳田 育孝,小島 淳平,李 宇,佐藤 瑠璃香,塚本 知子,上原 孝紀. 自己記入式 INTERMED(IMS)日本語版の成人外来患者での信頼性と妥当性の評価第 16 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2025 年 6 月 22 日
- 平田 理紗,香月 尚子,島田 ひとみ,八板 静香,織田 良正,中谷 英仁,甘利 香織,鋪野 紀好,吉村 麻里子,多胡 雅毅. 多病院データを用いた新たな転倒傷害予測モデルの開発と検証第 122 回日本内科学会総会・講演会 2025 年 4 月 19 日
- 山本 達也,山中 義崇,平野 成樹,杉山 淳比古,荒木 信之,仲野 義和,知識 柔一,樋口 佳則,桑原 聡. パーキンソン病において非運動症状は脳深部刺激療法術前・術後患者の生活の質に影響する第 19 回パーキンソン病・運動障害疾患コンGRESS 2025 年 7 月 25 日
- 加瀬 舞香,笠井 大,川崎 剛,吉田 幸恵,塩谷 優,村井 優志,鈴木 拓児. アミカシン・リポゾーム吸入用懸濁液 (ALIS) 使用中の難治性肺 Mycobacterium avium complex(MAC)症患者が抱える困難と、ALIS 継続のために望まれる支援 ALIS 使用患者からの声第 100 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会 2025 年 6 月 6 日
- 内田智子,江幡智栄,新井加代子,瀬戸智美,山内典子,三好麻実子,三村千弦 中堅看護師の生涯学習支援 日本看護管理学会第 29 回学術集会 2025 年 8 月 23 日
- 拝田一真,佐藤太一,中水流彩,依田智美,清水安子,菅原聡美,黒田久美子,山崎友宏 看護

実践・研究のもやもう～実践と共感の往還 千葉看護学会第31 学術集会交流集会 2025 年 9 月 13 日

- 小川純子,渡邊朋,竹之内直子,富岡晶子,塩飽仁,上別府圭子,佐藤伊織 在宅で療養する終末期の小児がんのこどものケアを引き継ぐ訪問看護師のニーズ 小児がん看護学会第 67 回学術集会 2025 年 11 月 19 日
- 高橋 在也, 武田 俊彦, 蘆野 吉和, 平原 優美. 災害連絡網の情報共有から明らかになった、在宅ケアに係る災害支援の課題 日本災害医学会第 31 回年次大会 2026 年 3 月 21 日
- 高橋 在也. いのち・くらし・生きがい・表現(語り) ～ACP はなぜ必要なのか～ 東松山市在宅医療・介護連携 多職種連携研修 2026 年 1 月 30 日
- 高橋在也. 3つの LIFE(生命・暮らし・生きがい): 在宅医療のキーワード 第 15 回健康いきがい学会 2025 年 11 月 15 日
- 高橋在也. いのち・くらし・生きがい・表現: 生きることと支えとしてのケア 新潟県介護老人保健施設協会 公開セミナー 2025 年 10 月 24 日
- 高橋在也, 大迫政子. 日本の伝統的／現代的な死生観とエンドオブライフケアへの示唆 第 8 回日本エンドオブライフケア学会学術集会 2025 年 9 月 14 日

原著

- Chiaki Kawame,Hajime Kasai,Yuki Shiko,Ayaka Kuriyama,Kenichiro Takeda,Hiroshi Tajima,Nami Hayama,Mikihito Saito,Shoichi Ito,Takuji Suzuki. The use of graphical lung sound visualizations in medical education: an evaluation of its impact on clinical clerkship. BMC medical education 25(1) 581 2025 年 4 月 21 日
- Keisuke Hasebe,Kiyoshi Shikino,Kenjiro Kawaguchi,Kazuyo Yamauchi,Nobuyuki Araki,Naoto Ozaki,Shinya Aoki,Tokuro Mori,Daichi Sogai,Ai Murayama,Satoshi Yamada,Ryunosuke Shioya,Yasushi Matsuyama,Shoichi Ito. Community diagnosis as a transformative learning approach to enhance medical students' community orientation and understanding social determinant of health: a mixed-methods study. BMC medical education 26(1) 209 2026 年 1 月 9 日
- Justin Simo,Heather M. Lugar,Elka Miller,Adi Wilf-Yarkoni,Yael Goldberg,Ayça Kocağa,Shoichi Ito,Sirio Cocozza,Giulio Frontino,Cristina Baldoli,Aziz Benbachir,Catherine Ashton,Guy Rouleau,Tamara Hershey,Yann Nadjar,Roberta La Piana. Expanding the spectrum of white matter abnormalities in Wolfram syndrome: A retrospective review Front Neurol 2025 年 10 月 31 日
- Masahiro Namiki,Atsuhiko Sugiyama,Yuki Nakagawa,Takayuki Ishige,Yoshikazu Nakano,Shoichi Ito,Masahiro Mori. Spinocerebellar Ataxia Type 6 Initially Diagnosed as Alcoholic Cerebellar Degeneration: A Case Report. Internal medicine (Tokyo, Japan) 2026 年 2 月 10 日
- Hayato Ebihara,Hajime Kasai,Ikuo Shimizu,Kiyoshi Shikino,Hiroshi Tajima,Yasuhiko Kimura,Shoichi Ito. Development of a Clinical Clerkship Mentor

Using Generative AI and Evaluation of Its Effectiveness in a Medical Student Trial Compared to Student Mentors: 2-Part Comparative Study. JMIR medical education 11 e76702 2025 年 9 月 4 日

- Yuki Morimoto,Kiyoshi Shikino,Yukihiro Nomura,Shoichi Ito. Trends in the Japanese National Medical Licensing Examination: Cross-Sectional Study. JMIR medical education 11 e78214 2025 年 12 月 23 日
- Kiyoshi Shikino,Kazuyo Yamauchi,Nobuyuki Araki,Naoto Ozaki,Yu Kamata,Shinya Aoki,Yota Katsuyama,Daichi Sogai,Mai Miyamoto,Kensuke Yoshimura,Takeshi Oki,Shoichi Ito. Impact of Community-Oriented Medical Education on Medical Students' Perceptions of Community Health Care: Qualitative Study. JMIR medical education 12 e84406 2026 年 1 月 19 日
- Kiyoshi Shikino,Naoto Ozaki,Nobuyuki Araki,Kazuyo Yamauchi,Hiroshi Tajima,Hajime Kasai,Ikuo Shimizu,Shoichi Ito. Impact of Community-Based Clinical Clerkship on Medical Students' Generalism-Related Competences: A Mixed-Methods Study. Journal of general and family medicine 26(6) 603-611 2025 年 11 月
- Misaki Onodera,Zaiya Takahashi,Hajime Kasai,Hidetaka Yokoh,Kiyoshi Shikino,Yasuhiko Kimura,Ikuo Shimizu,Kazuyo Yamauchi,Mayumi Asahina,Shoichi Ito. Exploring the Essential Competencies for Medical Education in the Post-COVID-19 Pandemic Era: A Mixed-Methods Investigation at a Japanese Medical School. Journal of medical education and curricular development 12 23821205251333502 2025 年
- Hajime Kasai,Rintaro Imafuku,Kiyoshi Shikino,Hiroshi Tajima,Ikuo Shimizu,Kaho Hayakawa,Chihiro Kawakami,Shoichi Ito,Takuya Saiki. Learning Through Oral Case Presentations and Impact on Medical Students' Clinical Training and Career Development: A Mixed - Method Study The Clinical Teacher 22(6) e70242 2025 年 12 月
- Hiroshi Tajima,Hajime Kasai,Kiyoshi Shikino,Ikuo Shimizu,Shoichi Ito. Perceptions and Intentions to Use Generative AI Among First-Year Medical Students in Japan: Cross-Sectional Survey Study JMIR Medical Education 11 e77552 2025 年 11 月 13 日
- Hajime Kasai,Hiroshi Tajima,Rintaro Imafuku. Overconfidence in Generative AI's High Quality: A Proposal for Goal Setting as a Prerequisite for Generative AI-Assisted Learning Medical Education (Japan) 57(1) 39-41 2026 年 2 月
- Toshiki Sakuma,Hajime Kasai,Toshihiko Sugiura,Kenichiro Takeda,Minori Watanabe,Kenichi Suzuki,Takashi Urushibara,Takuji Suzuki. Pulmonary arteriovenous malformation diagnosed by recurrent hemothorax - A case report. Respiratory medicine case reports 55 102204 2025 年
- Takahiro Arano,Shotaro Kanehiro,Hajime Kasai,Toshihiko Sugiura,Hiroki Imabayashi,Yuki Sata,Masayuki Ota,Hidemi Suzuki,Jun-Ichiro Ikeda,Takuji

Suzuki. Four-Dimensional Computed Tomography Differentiates Congenital Right Pulmonary Vein Atresia From Suspected Arteriovenous Malformation: A Case Report. *Respirology case reports* 14(3) e70514 2026 年 3 月

- Shin Ikeda,Hajime Kasai,Toshihiko Sugiura,Risa Tanaka,Nami Hayama,Shintaro Rakuman,Junko Takahashi,Shun Imai,Akira Naito,Takuji Suzuki. Endovascular Stenting for Malignant Superior Vena Cava Syndrome Complicated by Interstitial Pneumonia: A Report of 2 Cases. *The American journal of case reports* 27 e949434 2026 年 2 月 13 日
- Kazuya Nagasaki,Yuka Kawase,Yuji Nishizaki,Taro Shimizu,Yu Yamamoto,Kiyoshi Shikino,Takashi Watari,Hiroyuki Kobayashi,Yasuharu Tokuda. Gender differences in burnout among resident physicians in Japan: a nationwide cross-sectional study *Academic Medicine* 101(4) 403-410 2025 年 12 月 15 日
- Kiyoshi Shikino,Yuji Nishizaki,Koshi Kataoka,Kazuya Nagasaki,Hiroyuki Kobayashi,Taro Shimizu,Yasuharu Tokuda. Optimal Working Hours in the 2024 Physician Work Reform: Insights from a Residency Program Director *Advances in Medical Education and Practice* 16 1461-1468 2025 年 8 月
- Hirohisa Fujikawa,Hidetaka Tamune,Yuji Nishizaki,Kiyoshi Shikino,Taro Shimizu,Yu Yamamoto,Miwa Sekine,Kazuya Nagasaki,Hiroyuki Kobayashi,Yasuharu Tokuda. Supervising physicians' perceptions on physician work-hour regulations in Japan: a nationwide cross-sectional study. *BMC medical education* 25(1) 1489 2025 年 10 月 24 日
- Yasutaka Yanagita,Kiyoshi Shikino,Daiki Yokokawa,Kosuke Ishizuka,Tomoko Tsukamoto,Yu Li,Takanori Uehara,Masatomi Ikusaka. Appropriate semantic qualifiers increase diagnostic accuracy when using a clinical decision support system: a randomized controlled trial. *BMC medical education* 25(1) 711 2025 年 5 月 15 日
- Kazuya Nagasaki,Yuji Nishizaki,Taro Shimizu,Yu Yamamoto,Kiyoshi Shikino,Takashi Watari,Miwa Sekine,Hiroyuki Kobayashi,Yasuharu Tokuda. Clinical competence and attitudes towards LGBT patients among medical residents in Japan. *BMC medical education* 26(1) 187 2026 年 1 月 5 日
- Kosuke Ishizuka,Yuji Nishizaki,Koshi Kataoka,Taro Shimizu,Masanori Nojima,Yu Yamamoto,Kiyoshi Shikino,Sho Fukui,Kazuya Nagasaki,Hiroyuki Kobayashi,Mitsuyasu Ohta,Yasuharu Tokuda. Impact of inpatient volume on residents' In-training examination scores and burnout in Japanese community hospitals: a nationwide cross-sectional study. *BMC medical education* 26(1) 2026 年 1 月 24 日
- Kosuke Ishizuka,Yuji Nishizaki,Miwa Sekine,Taro Shimizu,Kiyoshi Shikino,Yu Yamamoto,Sho Fukui,Masanori Nojima,Mitsuyasu Ohta,Yasuharu Tokuda. Association between resident physicians from foreign medical schools and general medicine in-training examination scores: a nationwide cross-sectional study in

Japan. BMC medical education 26(1) 2026 年 3 月 3 日

- Masahiko Ezoe, Kiyoshi Shikino, Risa Hirata, Masaki Tago. Bilateral thalamic infarctions presenting with disturbance of consciousness BMJ Case Reports 18(7) 2025 年 7 月
- Ikuo Shimizu, Kiyoshi Shikino, Yukinori Harada, Masaru Kurihara, Kazumi Tanaka, Yuichi Masuda, Satoshi Watanuki, Yuko Ohishi, Tomoko Nakazato, Kosuke Ishizuka, Mamoru Komatsu, Taiju Miyagami, Toshinori Nishizawa, Ryo Nishimura, Toshihiko Oshita, Tomoharu Suzuki, Taro Shimizu. Differences in contributing factors to diagnostic errors between physicians and allied health professionals: a nationwide analysis in Japan BMJ Open Quality 14(4) 2025 年 10 月
- Shizuka Yaita, Naoko Katsuki, Risa Hirata, Eiji Nakatani, Midori Tokushima, Toru Oishi, Tomoyo Nishi, Masahiko Ezoe, Hitomi Shimada, Chihiro Saito, Kaori Amari, Kazuya Kurogi, Yoshimasa Oda, Maiko Ono, Mariko Yoshimura, Kiyoshi Shikino, Shun Yamashita, Yoshinori Tokushima, Hidetoshi Aihara, Masaki Tago. External Validation of the Saga Fall-Related Injury Risk Model and Exploration of Common Factors in Multiple Hospitals: A Retrospective Observational Study Clinical Interventions in Aging Volume 20 2119-2132 2025 年 11 月
- Yasutaka Yanagita, Kiyoshi Shikino. Oropharyngeal Carcinoma Presenting as a Large Cervical Mass With Impending Airway Obstruction. Cureus 17(7) e88206 2025 年 7 月
- Yasutaka Yanagita, Daiki Yokokawa, Kosuke Ishizuka, Rurika Sato, Jumpei Kojima, Yu Li, Shiho Yamashita, Kiyoshi Shikino, Tomoko Tsukamoto, Takanori Uehara, Masatomi Ikusaka. The value of designating symptoms as "vague" in diagnosis. Diagnosis (Berlin, Germany) 12(3) 482-484 2025 年 4 月 4 日
- Yasutaka Yanagita, Kiyoshi Shikino. Transient dysarthria and hemiparesis in an adolescent European Journal of Case Reports in Internal Medicine 12(8) 005597 2025 年 6 月 30 日
- Kiyoshi Shikino, Akira Kuriyama, Yoshito Nishimura, Michito Sadohara, Saori Nonaka, Kosuke Ishizuka, Fumitoshi Fukuzawa, Hanae Shimura, Noriko Yamamoto, Mitsuru Moriya. Burnout in Japanese Internists and Primary Care Physicians in 2024: The Prevalence and Risk Factors Using Structural Equation Modeling. Internal medicine (Tokyo, Japan) 2025 年 5 月 22 日
- Masaki Tago, Risa Hirata, Kiyoshi Shikino, Takashi Watari, Hiromizu Takahashi, Tomoyo Nishi, Yosuke Sasaki, Taro Shimizu. A Classification Method for General Medicine Physicians to Advance Field Research in Japan International Journal of General Medicine 18 5033-5038 2025 年 9 月
- Risa Hirata, Masaki Tago, Hiromizu Takahashi, Takashi Watari, Kiyoshi Shikino, Yosuke Sasaki, Taro Shimizu. A Questionnaire Study of Leadership in General Medicine: General Physicians in Japan are Facing Challenges in Education

and Research [Response to Letter]. International journal of general medicine 18 1215-1216 2025 年

- Hitomi Shimada,Risa Hirata,Naoko E Katsuki,Eiji Nakatani,Kiyoshi Shikino,Maiko Ono,Midori Tokushima,Tomoyo Nishi,Shizuka Yaita,Chihiro Saito,Kaori Amari,Kazuya Kurogi,Yoshimasa Oda,Mariko Yoshimura,Shun Yamashita,Yoshinori Tokushima,Hidetoshi Aihara,Motoshi Fujiwara,Masaki Tago. Validation of a Fall Predictive Model for Inpatients in Japanese Long Term Care Hospitals. International journal of medical sciences 22(12) 2877-2883 2025 年
- Hirohisa Fujikawa,Hidetaka Tamune,Yuji Nishizaki,Hirotake Mori,Sho Fukui,Kiyoshi Shikino,Taro Shimizu,Yu Yamamoto,Hiroyuki Kobayashi,Toshio Naito,Yasuharu Tokuda. Student Engagement from the Medical Trainees' Perspective and Associated Factors: A Nationwide Cross-Sectional Study. JMA journal 9(2) 486-494 2026 年 3 月 16 日
- Taiju Miyagami,Yuji Nishizaki,Taro Shimizu,Yu Yamamoto,Kiyoshi Shikino,Koshi Kataoka,Masanori Nojima,Gautam A Deshpande,Toshio Naito,Yasuharu Tokuda. Evaluating the Use of a Note-Taking App by Japanese Resident Physicians: Nationwide Cross-Sectional Study JMIR Formative Research 9 e55087 2025 年 5 月 9 日
- Kiyoshi Shikino,Yuji Nishizaki,Sho Fukui,Koshi Kataoka,Daiki Yokokawa,Taro Shimizu,Yu Yamamoto,Kazuya Nagasaki,Hiroyuki Kobayashi,Yasuharu Tokuda. Resident Physician Recognition of Tachypnea in Clinical Simulation Videos in Japan: Cross-Sectional Study JMIR Medical Education 11 e72640 2025 年 7 月 31 日
- Hiromizu Takahashi,Kiyoshi Shikino,Takeshi Kondo,Yuji Yamada,Yoshitaka Tomoda,Minoru Kishi,Yuki Aiyama,Sho Nagai,Akiko Enomoto,Yoshinori Tokushima,Takahiro Shinohara,Fumiaki Sano,Takeshi Matsuura,Rikiya Watanabe,Toshio Naito. AI- vs Human-Based Assessment of Medical Interview Transcripts in a Generative AI-Simulated Patient System: Cross-Sectional Validation Study. JMIR medical education 12 e81673 2026 年 2 月 17 日
- Akira Kuriyama,Kiyoshi Shikino. Temporal Trends in Physician Burnout During and After the COVID - 19 Pandemic in Japan: A Repeated Cross - Sectional Study Journal of General and Family Medicine 27(2) e70101 2026 年 3 月
- Mei Endo,Kiyoshi Shikino,Maham Stanyon,Koki Nakamura,Yoshihiro Toyoda,Fumie Hayasaka,Satoshi Kanke. Educational Effects of Collaborative Teaching on Medical Students' Perception of Patient - Centered Care: A Mixed Methods Study Journal of General and Family Medicine 27(2) e70104 2026 年 2 月 15 日
- Yuko Ishise,Risa Hirata,Naoko E. Katsuki,Shizuka Yaita,Eiji Nakatani,Chihiro Saito,Hitomi Shimada,Midori Tokushima,Maiko Ono,Kiyoshi Shikino,Yoshimasa Oda,Kaori Amari,Kazuya Kurogi,Mariko Yoshimura,Hidetoshi Aihara,Motoshi Fujiwara,Yoshinori Tokushima,Masaki Tago. Validation of a Fall Injury Prediction

Model for use in Chronic Care Hospitals: A Multicenter Retrospective Observational Study *Journal of Hospital General Medicine* 7(5) 170-176 2025 年 9 月

- Toshinori Nishizawa, Kazuya Nagasaki, Yuji Nishizaki, Nobutoshi Nawa, Yu Akaishi, Takeo Fujiwara, Masanaga Yamawaki, Taro Shimizu, Yu Yamamoto, Kiyoshi Shikino, Hiroyuki Kobayashi, Yasuharu Tokuda. Association between grit and wellness outcomes among Japanese medical residents: A nationwide cross-sectional study. *Medical teacher* 1-11 2026 年 1 月 24 日
- Yasutaka Yanagita, Kosuke Ishizuka, Daiki Yokokawa, Kiyoshi Shikino. Relationship between diagnostic accuracy and self-confidence among medical students when using Google search: A mixed-method study. *PloS one* 20(9) e0332918 2025 年 9 月 19 日
- Hirohisa Fujikawa, Hidetaka Tamune, Yuji Nishizaki, Hirotake Mori, Sho Fukui, Kiyoshi Shikino, Taro Shimizu, Yu Yamamoto, Hiroyuki Kobayashi, Toshio Naito, Yasuharu Tokuda. Better workplace social capital is associated with greater patient care ownership in medical residents: a nationwide cross-sectional study. *Postgraduate medical journal* 2026 年 1 月 9 日
- Kazuya Nagasaki, Yuji Nishizaki, Taro Shimizu, Yu Yamamoto, Kiyoshi Shikino, Koshi Kataoka, Hiroyuki Kobayashi, Yasuharu Tokuda. Educational environment changes toward resident duty hour restrictions in Japan. *Scientific reports* 15(1) 16925 2025 年 5 月 15 日
- Taiju Miyagami, Yuji Nishizaki, Taro Shimizu, Yu Yamamoto, Kiyoshi Shikino, Koshi Kataoka, Hiroyuki Kobayashi, Toshio Naito, Yasuharu Tokuda. A cross sectional study of the relationship between clinical scores and timing of guidance for resident physicians in outpatient settings. *Scientific reports* 16(1) 1016 2025 年 12 月 1 日
- Hirohisa Fujikawa, Hidetaka Tamune, Yuji Nishizaki, Kazuya Nagasaki, Hiroyuki Kobayashi, Masanori Nojima, Miwa Sekine, Taro Shimizu, Yu Yamamoto, Kiyoshi Shikino, Yasuharu Tokuda. Associations between patient care ownership, burnout, and job satisfaction among medical residents: a nationwide cross-sectional study in Japan. *Scientific reports* 16(1) 2026 年 2 月 14 日
- Hirohisa Fujikawa, Hidetaka Tamune, Yuji Nishizaki, Kiyoshi Shikino, Taro Shimizu, Yu Yamamoto, Hiroyuki Kobayashi, Yasuharu Tokuda. Hospital Type and Medical Residents' Patient Care Ownership: A Nationwide Cross-Sectional Study in Japan. *The clinical teacher* 22(4) e70109 2025 年 8 月
- Junichi Fukamizu, Tobias MacCarthy, Ikuo Shimizu, Shigeki Ariura, Ryouta Tanetani, Shouta Arahira, Manabu Tamura, Ken Masamune, Kalaivani Mahadevan, Nitin Chandramohan, Thomas Hovasse, Jacques Monsegu, James Nolan, Joelle Kefer, Piotr Musialek, Martin Oberhoff, Michael Haude, Hakim Benamer, Olivier Muller, Patrick A. Calvert, Satoru Sumitsuji, Peter O'Kane, Gabor Toth, Thomas Cuisset, William Wijns, Thomas W. Johnson. Prevention and Management of Percutaneous Coronary Intervention - Related Complications:

Assessing the Impact of Simulation - Based Learning and Human Factors Training
Catheterization and Cardiovascular Interventions 2025 年 12 月 15 日

- Hirofumi Kanazawa, Tomonari Yoshizawa, Ikuo Shimizu. The Big Five Personality Traits of Medical Students Who Choose a Community-Oriented Medicine Career Cureus 2025 年 7 月 16 日
- Yuka Yamazaki, Kyoko Nomura, Katsuya Sato, Michiko Nohara, Hitomi Kataoka, Yumiko Okubo, Kanae Karita, Masahiro Heima, Ikuo Shimizu, Naomi Kitano, Atsushi Oshio. Development of the Academic Harassment Tendency Scale for Science Academia Journal of Academic Ethics 23(4) 2487-2510 2025 年 7 月 19 日
- Atsuhiko Sugiyama, Tatsuya Yamamoto, Shigeki Hirano, Mitsuyoshi Tamura, Yoshitaka Yamanaka, Nobuyuki Araki, Satoshi Kuwabara. Predicting Incomplete Voiding in Multiple System Atrophy Using a Questionnaire Neurology and Clinical Neuroscience 13(4) 263-268 2025 年 5 月 23 日
- Hidetaka Yokoh Kiyoshi Shikino Hajime Kasai Masato Kanda Atsuhiko Sugiyama Tomoko Tsukamoto Hanae Wakabayashi Yohei Matsumoto Yasuhiko Kimura Mayumi Asahina Shoichi Ito. Impact of Coaching on Medical Students During Their Clinical Clerkship: A Mixed-Methods Study. Journal of medical education and curricular development 13 2026 年
- Kiyoshi Shikino, Naoto Ozaki, Nobuyuki Araki, Kazuyo Yamauchi, Hiroshi Tajima, Hajime Kasai, Ikuo Shimizu, Shoichi Ito. Impact of Community - Based Clinical Clerkship on Medical Students' Generalism - Related Competences: A Mixed - Methods Study Journal of General and Family Medicine 2025 年 10 月 12 日
- Masatoshi Saiki, Gaku Nishimiya, Ikuko Sakai. A model for the utilization and deployment of registered nurses with an extended scope of practice in organizations Journal of International Nursing Research 5(1) e2024-0030 2026 年 2 月 25 日
- Masatoshi Saiki Jasneet Kaur Sonopant Joshi Sheela Upendra Izumi Usui Tomomi Goto Kazuhito Hirota Gaku Nishimiya Akiko Nosaki Kyoko Amai Narumi Ide Sun Jiaru Ikuko Sakai. Quality of Life and Associated Factors Among Older Adults With Chronic Diseases in Japan and India: A Cross-Sectional Comparative Study Public Health Nursing 2026 年 2 月 10 日
- Takanori Uehara, Ikuko Sakai, Izumi Usui, Yoshiyuki Ohira, Masato Okubo, Itsuko Ishii, Mayumi Asahina BMC medical education 25(1) 1681-1681 2025 年 12 月 8 日
- Masatoshi Saiki, Ai Tomotaki, Emi Yasuda, Masakazu Nishigaki, Takeshi Yamamoto, Chiyo Matsuoka, Ikuko Sakai. Nurse Managers' Implementation Leadership and Hospital Nurses' Evidence-Based Practice: A Multilevel Analysis of the Mediating Effects of Evidence-Based Practice Beliefs. Nursing & health sciences 27(4) e70229 2025 年 12 月
- 笠井 大. 医学教育の論文執筆における生成 AI の活用: 研究計画立案から論文執筆までの実践的アプローチ 医学教育 56(2) 113-123 2025 年

- 笠井 大,田島 寛之,今福 輪太郎. 生成 AI 時代に医療者とその学習者に求められる生成 AI との向き合い方-人間としての基本的な資質・能力を基盤にした AI リテラシーと教育の提案- 医学教育 56(5) 317-319 2025 年
- 笠井 大,田島 寛之,今福 輪太郎. 生成 AI の「高品質への過信」：生成 AI 支援学習の前提条件としてのゴール設定についての提言 医学教育 57(1) 39-41 2026 年 2 月
- 林 幹雄,野村 理,鋪野 紀好,清水 郁夫,水本 潤希,藤川 裕恭,菊川 誠. 医療者教育研究における論文出版および抄録採択支援を目的とした教育実践 知的素直さへの着目 医学教育 56(4) 259-266 2025 年 8 月
- 尾崎尚人. 生成 AI による ICF コーディングシステム “ICF Coder” の利活用 総合リハビリテーション 53(6) 573-579 2025 年 6 月

書籍

- 田中 和美, 青森 達, 石川 麻衣, 大濱 和也, 恩幣 宏美, 片山 佳代子, 岸 美紀子, 荒神 裕之, 小松 浩子, 小松 康宏, 小山 諭, 齋藤 貴之, 篠崎 博光, 清水 郁夫, 杉村 政樹, 相馬 孝博, 福島 康宏, 松井 弘樹, 李 範爽, 渡辺 恵 (監訳・監訳協力). 『臨床インシデントの システム分析： ロンドン・プロトコル 2024』群馬大学 多職種人材育成のための医療安全教育センター 2025 年 11 月 7 日
- 松山 泰, 鋪野 紀好,三原 弘, 林 幹雄, 医療管理学, 黄 世捷, 浅田 義和. 『動画・音声付臨床問題教材作成ガイド: 次世代医師国家試験を見据えて』医学書院 2025 年 7 月
- 山中義崇, 荒木信之, 桑原聡. 『スモンに関する調査研究 スモン後遺症患者における自律神経アンケート全国調査 スモンに関する調査研究 令和 6 年度 総括・分担研究報告書』 2025 年
- 鋪野 紀好 (担当:分担執筆). 『臨床推論力がアップする問診の“勘どころ”：目指せ総合診療エキスパート!』文光堂 2026 年 3 月 (ISBN: 9784830610325)
-

総説

- 鋪野 紀好,伊藤 彰一. ホスピタリストのための精神科の知識 患者対応が困難な状況 (difficult patient encounters)要因分析と対応方法を中心に Hospitalist 12(4) 2025 年
- 沈 雨香,武藤 浩子,山本 桃子,木村 康彦,藤本 啓寛,濱中 淳子,吉田 文. 【研究報告】私立大学における高大接続に関する研究 -附属校出身者に着目して- 早稲田教育評論 40(1) 89-110 2026 年 3 月 31 日
- 青山 彩香,鋪野 紀好. エキスパートが教える問診の勘どころ 対話から拾い上げるコモンディジーズ 第 22 回「手先が痺れるんです」 Medical Practice 42(4) 638-641 2025 年
- 鋪野 紀好. 医学情報の集め方・活かし方 生成 AI 時代のスタンダード!【第 4 章:コラム】書籍・教科書の一步進んだ読み方 レジデントノート 27(6) 1188-1193 2025 年
- 鋪野 紀好. 【めまいを極める イルネススクリプトをおさえた診断力トレーニング】Case Series クリティカルディジーズ 急性肺血栓塞栓症 労作で誘発されるめまい 診断と治療 113(10) 1209-1211 2025 年 10 月

- 鋪野 紀好. 器質的疾患と心因性疾患を見極める 診断推論ストラテジー 病歴と身体診察 器質的疾患と心因性疾患の特徴(病歴) 診断と治療 113(4) 418-422 2025 年
- 福澤 文駿, 鋪野 紀好. 器質的疾患と心因性疾患を見極める 診断推論ストラテジー 症候別診断推論ストラテジー 頭痛・身体的要因による頭痛と心理社会的要因に伴う頭痛・診断と治療 113(4) 497-500 2025 年
- 清水 郁夫, 田中 和美, 西村 礼子, 岸 美紀子. 我が国のコンピテンシー基盤型教育における「医療・ケアの質と安全」私案：大会ワークショップからの提案 医学教育 57(1) 36-38 2026 年 2 月 25 日
- 清水 郁夫. 医療における患者安全の推進役としてのプライマリ・ケア 日本プライマリ・ケア連合学会誌 48(2) 43 2025 年 6 月 20 日
- 三原 弘, 清水 郁夫. 若手医師が働きたい病院とは どこでも通用する力と、ここでもしか得られない力 病院経営羅針盤 16(290) 5-10 2025 年 12 月 15 日
- 藤澤陽子, 新井加代子 千葉大学医学部附属病院看護部が取り組む「EBP 実践」と「人材育成」看護管理 35 (8) 658-662 2025 年 8 月
- 酒井 郁子. 書評 ケアの意味を見つめる事例研究・看護実践の知を探究する研究方法論 看護管理 35(9) 805-805 2025 年 9 月 10 日
- 酒井 郁子 看護管理者にとっての EBP—特集 看護管理者のための EBP 入門：質改善の組織文化を加速させるリーダーシップ 看護管理 35(8) 634-639 2025 年 8 月

教材開発

- なし

その他

- なし

競争的資金

外部資金名・種別	研究課題名（研究題目）	研究者	採択年度
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	尊厳あるケアのための多層的リーダーシップ発揮による身体拘束縮小戦略の理論化と普及	酒井 郁子, 山本 武志, 西垣 昌和, 保田 江美, 深堀 浩樹, 佐伯 昌俊, 友滝 愛, 松岡 千代	2024-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	看護の役割拡大に伴う判断に係る教育プログラム構築：コンピテンシー、EPAsの明文化	萱間 真美, 春山 早苗, 酒井 郁子, グレグ 美鈴, 大西 弘高	2024-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	特定行為に係る看護師の研修制度の政策過程の分析	山本 武志, 酒井 郁子	2024-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	専門職連携教育が有する学習者のエージェンシーに対する教育効果の多機関共同研究	下井 俊典, 酒井 郁子, 井出 成美, 孫 佳茹, 高野 吉朗, 有家 尚志, 濱地 望, 大古場 良太, 仲 貴子, 吉松 竜貴	2024-2028
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	ヘルスケア専門職の IPS 発展を学習目標とした多職種連携協働研修プログラムの開発	井出 成美, 酒井 郁子, 下井 俊典, 孫 佳茹	2025-2028
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	1960 年代の教育・労働裁判が教育政策に与えた影響に関する実証的研究	高木 加奈絵, 木村 康彦, 前田 麦穂, 桑嶋 晋平, 長嶺 宏作, 富山 仁貴, 跡部 千慧, 鈴木 麻里子	2024-2027
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	行政と協働した日本型対話促進 ACP モデルによる教育的介入と社会的スキームの実装	長江 弘子, 原沢 のぞみ, 那須 真弓, 坂井 志麻, 片山 陽子, 中村 円, 高橋 在也, 岩崎 孝子, 高 紋子, 山縣 千尋, 彦 聖美, 青山 美紀子, 酒井 武志, 千葉 恵子, 山田 案美加	2022-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究	外国人患者との良好なコミュニケーションおよび異文化理解を促す医学英語教育の開発	塚本 知子	2025-2027

厚生労働科学研究費補助金	令和2年度の医師臨床研修制度の見直しの影響の評価のための研究	竹村洋典, 横山和仁, 武藤剛, 大西弘高, 伊藤彰一, 松本卓子, 片桐大輔, 鋪野紀好, 佐藤武郎, 鷺尾真理愛	2024-2025
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業 政策科学推進研究事業	総合的な診療能力を有する医師の活躍推進方策に関する調査研究	小林大輝, 前野哲博, 他(鋪野 紀好)	2024-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	医学教育プログラムのモニタ・評価・改善に資する質保証の好循環システムに関する研究	松本 暢平, 笠井 大, 鋪野紀好, 横尾 英孝, 朝比奈 真由美, 伊藤 彰一	2024-2026
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金事業	ICTを利用した医師国家試験の評価方法の開発と検証のための研究	河北博文, 岡崎仁昭, 松山泰, 浅田義和, 久保沙織, 小西康彦, 小松弘幸, 高村昭輝, 内藤俊夫, 奈良信雄, 錦織宏, 伴信太郎, 森博威	2024-2026
厚生労働省 行政推進調査事業費	医師臨床研修制度における基本的臨床能力評価試験の活用等に関する研究	小林裕幸, 徳田安春, 志水太郎, 山本祐, 鋪野紀好, 福井翔, 西崎祐史, 長崎一哉, 西口翔, 片山皓太, 高田俊彦, 和足孝之, 藤川裕恭, 横瀬允史	2024-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(A)	AIによる対話技術を活用した模擬患者アバターでの仮想空間医療面接教育基盤の創生	石原 慎, 岡崎 史子, 蓮沼直子, 高橋 誠, 橋本 佳, 廣井 直樹, 寺澤 晃彦, 小松弘幸, 山内 かづ代, 三好 智子, 伊藤 俊之, 伊藤 彰一, 藤田 博一, 田口 亮, 大久保由美子, 李 晃伸, 荒川 敏, 棚野 吉弘, 岸 美紀子, 上乃聖, 鋪野 紀好	2024-2028
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	人工呼吸管理に習熟した医療人材育成の為の多職種連携教育手法の開発および効果検証	田島 寛之, 伊藤 彰一, 笠井大	2024-2027
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	診療参加型臨床実習を推進する新たな指導法の開発:	横尾 英孝, 大西 俊一郎, 笠井 大, 鋪野 紀好, 松本 暢平, 塚本 知子, 神田 真人,	2023-2026

	汎用化に向けた多施設共同研究	若林 華恵, 杉山 淳比古, 朝比奈 真由美, 伊藤 彰一	
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	卒前卒後の地域医療学修を支える地域実践型指導医育成プログラムの開発と評価	山内 かづ代, 鋪野 紀好, 伊藤 彰一	2023-2025
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	医療系学部・大学院の全員留学による学びの包括的評価に関する実証研究	中村 絵里, 伊藤 彰一, 大西 好宣, 松本 暢平, 山田 知子, 伊藤 晃成, 酒井 郁子, 野崎 章子, カズノブ ダビッド	2021-2025
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	DXに基づく急性期病院の認知症ケア専門職連携を促進する Simulation Platform の開発	鈴木 みずえ, 伊藤 友孝, 酒井 郁子, 五十嵐 歩, 山川 みやえ, 御室 総一郎, 稲垣 圭吾, 内山 昌代, 金盛 琢也	2023-2026
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	軽度認知機能障害者に対する睡眠データを活用したハイブリッド型看護外来の構築	山川 みやえ, 足立 浩祥, 酒井 郁子, 深堀 浩樹, 池田 学, 樋上 容子, 糀屋 絵理子, 竹屋 泰, 釜江 和恵, 金盛 琢也	2022-2025
日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 若手研究	実践的 EBM 能力を有する医療者養成のための教育プログラム開発とその効果検証	笠井 大	2021-2025
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)	質の高い安全な医療の提供のための高信頼性組織理論に基づく医療安全教育の開発と実装	田中 和美, 清水郁夫, 岸美紀子, 大石裕子, 中里智子, 篠崎博光, 斎藤貴之, 小松康宏, 相馬孝博, 小松浩子	2025-2029
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	多職種連携による医療安全向上のための職種別エラー特性と法的責任の検討	鳥羽三佳代, 清水郁夫, 森脇睦子, 中部貴央	2025-2027
日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	日本型福祉国家における臨時教育審議会に関する研究	長嶺 宏作, 木村 康彦, 中村 恵佑, 高木 加奈絵, 荒井 英治郎	2023-2027
日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究	アウトカム基盤型リカレント教育により神経難病診療の危機を解決する革新的研究	荒木 信之	2023-2027

千葉県若手医師地域定着促進事業給付金	診断推論ラボ (Dx Lab)	佐藤瑠理香	2025
--------------------	-----------------	-------	------

11. IR データ

※見出しのみ掲載（各種報告書／集計結果は内部資料として保管）

卒前教育 IR データ

- 卒業時調査
- メンター制度にかかるデータ（メンタープロフィール、メンタリング終了後アンケート）
- wbt 成績・共用試験成績
- 学生による授業評価アンケート

卒後教育 IR データ

- 卒後臨床研修に関するアンケート調査（研修医採用予定者ガイダンス時）
- 卒後臨床研修に関するアンケート調査（研修修了時）
- 地域医療研修に関するアンケート
- 研修医面談レポート

その他

- 千葉大学医学部附属病院研修医選抜試験アンケート調査

12. 資料（規程等）

千葉大学医学部医学教育研究室規程

<https://www.chiba-u.ac.jp/general/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000670.htm>

（平成 17 年 12 月 12 日制定）

（一部抜粋）

（設置）

第 1 条 千葉大学医学部（以下「医学部」という。）に、医学教育研究室を置く。

（目的）

第 2 条 医学教育研究室は、医学部における学生の入学から卒業までの一貫した教育、卒業後研修及び生涯医学教育等（以下「一貫教育等」という。）を支援・実施することを目的とする。

（業務）

第 3 条 医学教育研究室は、一貫教育等を支援・実施するため、次に掲げる業務を行う。

- 一 入学試験、カリキュラムの企画・実施に関すること。
- 二 進級判定、卒業認定等の実施・管理に関すること。
- 三 医学教育に関する調査・研究及び教育プログラムの開発に関すること。
- 四 教員を対象とした教育貢献の評価法の実施及び評価に関すること。
- 五 FD（ファカルティ・ディベロップメント）の企画・実施等に関すること。
- 六 生涯医学教育の企画・実施等に関すること。
- 七 その他一貫教育等の支援・実施に関すること。

（組織）

第 4 条 医学教育研究室に、次の職員を置く。

- 一 室長
- 二 副室長
- 三 その他医学部長が必要と認めた者

（室長・副室長）

第 5 条 室長及び副室長は、医学部長が指名する者をもって充てる。

- 2 室長は、医学教育研究室の業務を総括する。
- 3 副室長は、室長の職務を補佐する。

（部門）

第 6 条 医学教育研究室に、次の部門を置く。

- 一 教育評価部門
- 二 FD（ファカルティ・ディベロップメント）実施部門
- 三 情報管理部門
- 四 国際交流部門

千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター規程

<https://www.chiba-u.ac.jp/general/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000913.htm>

(平成 16 年 4 月 1 日制定)

(一部抜粋)

(趣旨)

第 1 条 この規程は、千葉大学医学部附属病院規程第 30 条の規定に基づき、千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター(以下「センター」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(目的)

第 2 条 センターは、医学部附属病院長の管理の下に、医学部附属病院において教育研修を実施するとともに、病院における各種教育研修への支援及び助言をすることを目的として、次の各号の業務を行う。

- 一 医師等の臨床研修に関すること。
- 二 医師等の専門研修に関すること。
- 三 看護師特定行為研修に関すること。
- 四 医療系学生の教育研修に関すること。
- 五 研修登録医、病院研修生、受託実習生、臨床研修見学生の教育研修に関すること。
- 六 教育研修に関するデータの集積及び分析に関すること。
- 七 各種教育研修を統括すること。
- 八 その他教育研修に関すること。

(部門)

第 3 条 センターに、次の部門を置く。

- 一 教育研修管理部門
- 二 教育研修実践部門
- 三 調査・分析部門

(職員及び職務)

第 4 条 センターに、センター長を置く。

2 前項に規定する者のほか、次の職員を置くことができる。

- 一 副センター長
- 二 教授、准教授、講師及び助教
- 三 その他の職員

3 前項各号に掲げる職員は、センター長の命を受け、担当の業務を処理する。

(教育研修管理チーム)

第 5 条 センターに、院内の研修計画の立案及び管理等を行うため、教育研修管理チームを設置する。

(雑則)

第 6 条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、別に定める。

千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター教育研修管理チーム内規

<https://www.chiba-u.ac.jp/general/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110001573.htm>

(令和3年7月1日制定)

(趣旨)

第1条 この内規は、千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター規程(以下「センター規程」という。)第6条の規定に基づき、センター規程第5条に規定する千葉大学医学部附属病院総合医療教育センター教育研修管理チーム(以下「教育研修管理チーム」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(活動内容)

第2条 教育研修管理チームは、総合医療教育研修センター長の管理の下、次に掲げる活動を行う。

- 一 教育・研修に関する計画の立案及び管理等
- 二 教育・研修の質の向上に資する活動

(組織)

第3条 教育研修管理チームは、次に掲げる職員をもって構成する。

- 一 総合医療教育研修センターの教職員 若干名
 - 二 クリニカル・スキルズ・センターの教職員 若干名
 - 三 卒後臨床研修カリキュラム専門委員会の医師及び歯科医師 若干名
 - 四 検査部の臨床検査技師 若干名
 - 五 放射線部の臨床放射線技師 若干名
 - 六 輸血・細胞療法部の臨床検査技師 若干名
 - 七 病理部の臨床検査技師 若干名
 - 八 リハビリテーション部の療法士 若干名
 - 九 臨床工学センターの臨床工学技士 若干名
 - 一〇 企画情報部の教職員 若干名
 - 一一 医療安全管理部の医師、看護師又は薬剤師 若干名
 - 一二 患者支援部の医療社会福祉士 若干名
 - 一三 臨床栄養部の管理栄養士 若干名
 - 一四 薬剤部の薬剤師 若干名
 - 一五 看護部の看護師 若干名
 - 一六 事務部総務課の事務職員 若干名
 - 一七 事務部医事課の事務職員 若干名
 - 一八 その他総合医療教育研修センター長が必要と認めた者 若干名
- 2 前項に定める構成員は、各部署からの推薦を受けて総合医療教育研修センター長が指名する。

(チーム長及び副チーム長)

第4条 教育研修管理チームにチーム長及び副チーム長を置く。

2 チーム長は総合医療教育研修センター長が兼務し、副チーム長はチーム長が指名する。

3 チーム長は教育研修管理チーム会議(以下「会議」という)を招集し、その議長となる。

4 チーム長に事故あるときは、副チーム長がその職務を行う。

(会議)

第5条 教育研修管理チームは、第2条に掲げる活動を行うため、年に2回を定例として会議を開催する。ただし、チーム長が必要と認めたときは、臨時に開催することができる。

2 会議は、構成員の過半数の出席がなければ開催することができない。

3 チーム長が必要と認めたときは、構成員以外の者を会議に出席させることができる。

4 会議の議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときはチーム長の決するところによる。

(コア会議)

第6条 チーム長は、第2条に掲げる活動を支援するため、教育研修管理チームのもとに、チーム長、副チーム長その他チーム長が必要とする者からなるコア会議を開催することができる。

(事務)

第7条 教育研修管理チームの事務は、総合医療教育研修センター及び総務課において処理する。

(雑則)

第8条 この内規に定めるもののほか、教育研修管理チームに関し必要な事項は、別に定める。